

# 令和4年度 事業報告

社会福祉法人上尾市社会福祉協議会

## 令和4年度 活動概要

新型コロナウイルスの感染拡大から3年目となった令和4年度は、長期に渡るコロナ禍の影響で表面化した生活の困窮、フレイルの進行や孤立化等の問題に対し、基本的な感染対策を徹底しながら、解決に向けてより積極的にアプローチを図る1年となりました。特に、社協支部事業の推進については、利用者と活動者双方の合意を前提として、顔を合わせてつながる活動を活発化し、孤立とフレイルの防止に取り組みました。また、令和4年度から5か年計画として施行となった「第6次上尾市地域福祉活動計画」の達成目標として掲げた「隣近所や自治会などの生活エリア（範囲）において、住民同士のつながりが豊かで、福祉力（互助力）が高い地域」を実現するため、計画の内容や社協支部の役割について共有する場をつくり、次年度の具体的な取り組みに反映するための検討を図りました。

包括的な権利擁護支援の中核機関として、令和4年度から本格的に動き始めた成年後見センターには、毎月100件近くの相談や問い合わせがあり、成年後見制度に対する関心の高さや、将来に対する不安を感じている人の多さを再認識することとなりました。

一方で、コロナの影響で生活に困窮している世帯に対する特例貸付は昨年9月末で終了となりましたが、未だ生活を立て直せずに苦しんでいる方や、複雑化・複合化した問題を抱える世帯が増えており、行政をはじめとした関係機関と連携を密に図りながら相談支援に取り組みました。また、長期化するコロナ禍は、活動者側のフレイルも助長し、地域の担い手不足をより深刻化させる事態を招いていることなど、次年度に繋がる大きな課題を抱えた1年でもありました。

## 1 生活相談と支援活動の推進～個別相談機能の充実～

本会では、地域住民が取り組む「福祉初期相談の窓口」として、13の支部拠点を設置しています。また、支部担当をはじめとする地域福祉課職員は、必要に応じて要支援者のもとに出向き、世帯の生活課題を把握しながら関係機関と連携し支援を行っています。

「要支援者」と「その方を取り巻く地域住民」、「関係機関」とをつなぐ役割として、支援活動を行いました。

- ① 各社協支部に担当職員を配置し、支部拠点の相談窓口や民生委員・児童委員との連携により、心配ごとを抱える住民の相談に対して、必要に応じて専門機関へ繋ぎ、支援しました。
- ② 貸付事業では、新型コロナウイルスの感染拡大の影響による減収及び失業で生活困窮に陥った世帯に対する特例貸付（特例総合支援資金、特例緊急小口資金）の申請受付を令和4年9月30日まで実施し、支援するとともに、受付終了後も本則貸付での対応及び、自立相談支援機関との連携により相談支援を行いました。また、低所得者や高齢者、障がい者の生活を経済的に支えるとともに、その在宅福祉および社会参加の促進を図るため、各種貸付での対応を含め関係機関と共に支援しました。
- ③ 成年後見制度の利用促進を図る「上尾市成年後見センター」と、本会が後見人業務を行う「法人後見事業」を実施し、日常生活自立支援事業と合わせて、判断能力の不十分な方の権利擁護体制を推進しました。

## 2 社協支部活動の推進

令和4年度の社協支部活動は、感染症対策と、利用者及び活動者双方の合意を基本とした支部事業を活性化することで、つながりの再構築と、新たなつながりを生み出し、フレイルと孤立を防ぐことを目標に取り組んだ一年となりました。

支部総会こそ、ほとんどの社協支部が書面での審議となりましたが、役員会や部会等での協議の上、交流事業や歳末福祉事業、視察研修及び地域福祉懇談会等、支部関係者や地域住民が顔を合わせる機会を再開することとなりました。

社協13支部拠点も、ほとんどの支部が週4日の開所を再開し、コーディネーターが常駐しながら、あったか見守りサービス事業の実施継続をするとともに、初期相談窓口及び地域の連絡所の機能を担い、地域住民や支部関係者、自治会関係者等との連絡調整を行いました。

また、各支部ともに広報紙を発行し、地域活動情報の発信をするとともに、見守り協力員の募集や支部拠点のPRを積極的に行いました。

上尾市社会福祉協議会では、社協支部の運営における後方支援を行うとともに、

支部圏域ごとの社会資源について、行政、地域包括支援センター、市内居宅事業所等に対して、情報提供及び地域課題の共有を行いました。

市民への啓発事業として、3年ぶりの会場開催となった第32回地域福祉を考える集いでは、「災害に備える～私たちは何ができるのか～」をテーマにし、地域で災害が起きたらどうすればいいのか、普段から出来ることはあるのか、改めて災害事例を通し、地域住民とともに考える機会としました。

### 3 市民活動・ボランティア活動の推進及び地域福祉財源の獲得

ボランティア活動を始めるきっかけづくりとしての「夏休みボランティア体験2022」は、感染症対策を十分行いながら、オンラインでのメニューを取り入れるなど、工夫しながら企画・実施しました。

「傾聴ボランティア入門講座」や「福祉教育推進者ミニ講座」、「災害ボランティア養成講座」を行い、地域を支える人材について育成しました。

「小中学生作文コンクール」は、普段の暮らしの中で「地域のつながり」を実感し、感動をおぼえた体験から、地域の方や友達などと「ふれあうことの楽しさ」「共に生きる幸せ、喜び」について考える機会とするとともに、思いやりの心を育み、人とのつながりを大切に、支え合いながら暮らしていける社会の実現を目指すことを目的として実施しました。

生活困窮者支援としてフードドライブを実施し、多くの食材を必要な世帯や団体につなぎました。

地域福祉財源の確保においては、ホームページへの掲載で、募金及び世帯・個人会員会費の協力を呼び掛けました。

### 4 在宅福祉サービスの推進

新型コロナウイルス感染対策を続けながら、高齢の方や障がいのある方が、介護保険や障害福祉サービス等を利用して、自宅で豊かな生活が続けられるよう、ホームヘルパーのサービスを提供することができました。

ホームヘルパーを対象とした集合型研修も、3年ぶりに実施することができ、各人の質の向上にもつなげることができました。

安心して子育てをしていくための援助活動を支援する「あげおファミリー・サポート・センター」も、規模を縮小してでしたが3年ぶりにミニ交流会を実施することができ、依頼会員・提供会員の交流を図り、明るい笑い声が響きました。入会説明会も感染対策を万全に実施を続け、人材確保に努めました。

「身体障害者福祉センターふれあいハウス」や「障害福祉サービス事業所かしの木園」では、新型コロナウイルスの感染対策を徹底しながら支援を続けることができ、「老人福祉センターことぶき荘」は、利用制限の緩和を図りながら、徐々に利用者も増えてきました。

## 5 第6次上尾市地域福祉活動計画の推進

令和4年度から令和8年度までの5年間を計画期間とした「第3次上尾市地域福祉計画・第6次上尾市地域福祉活動計画」を策定し、上尾市・上尾市社会福祉協議会において計画推進に向けて取組を開始しました。

この計画における重要なポイントは、住民主体の地域福祉を推進していくうえで、隣近所や自治会などの生活エリアにおいて、支え合い（生活支援）や見守りが展開されることが効果的と考えます。そのためには、地域住民一人ひとりが地域福祉に関心を寄せ、参加していただくことで、「おたがいさま」の心が育まれることを期待するとともに、人と人とのつながりが、お互いの顔が見えるような身近な範囲において醸成されるよう支援体制を強化していく必要があります。

そこで、まず計画策定初年度である令和4年度を「計画の方向性を確認する一年」と位置づけ、支部長会議をはじめ、各社協支部の会議や学習会、地域福祉懇談会など、支部の実情に合わせて、効果的な機会を設けていただき、進捗の要となる社協支部関係者と計画の方向性を確認してきました。

計画のポイントを踏まえ、今後は社協13支部が自治会等とより連携を深め、住民同士が身近な範囲でつながり支え合う地域を目指し、福祉力（互助力）の向上を図るとともに、本会は、市と合同で事務局体制をとりながら計画の推進に努めていきます。

## 6 広報・啓発活動の推進

広報紙「社協だより」を年3回発行し、自治会未加入者にも福祉情報等をきめ細やかに伝えていくことを目的に、ポスティングにより全世帯へ配布しました。

紙面作成では、上尾市成年後見センター開所のお知らせや、火災・災害時における支援活動等の社協活動、また、ボランティア募集やコロナ禍における地域の取り組みや社協事業の利用者と地域との関わり等、事業報告のみではなく、住民同士のつながりや支え合いの大切さを考えていただくための情報を意識的に発信し、地域住民への福祉意識の向上に努めました。

ホームページやツイッターでは、タイムリーに社協事業や地域活動の積極的な発信を行いました。特にツイッターにおいては、継続的に発信した結果、多くの市民の方にフォローしていただきました。

## 7 自主財源の確保

世帯・個人会員及び個人賛助会員は、見守り活動や各支部事業など、地域福祉を推進するうえで欠かせない重要な財源です。「地域住民相互の助け合い」を基本にして、会費が地域福祉活動に活用されていることを、地域住民へ回覧文章を通して社会福祉協議会会員加入の促進に努めました。

日赤募金は、5月を強化月間とする戸別募金の15%が上尾市に配分され、災害救援や血液事業等人道的支援活動、地域の福祉の向上のため講習会を実施するなど使用されています。今年度市内で10件の火災と2件の床上水害にお見舞いをさせていただきました。

赤い羽根共同募金は、10月から3月にかけて活動を行い、その実績の50%が翌年度に上尾市に配分され地域福祉の課題解決に取り組むための重要な財源になっています。募金額が毎年減少しており、今年度はイオンモールにて街頭募金を行うなど市民への啓発をさせていただきました。

歳末たすけあい募金は、10月から12月の間で募金活動を行いました。市内で集められた全額が、上尾市に配分されます。今年度は、昨年度並みに実績をいただき、介護度3～5を持って在宅にて生活を送られている世帯と生活困窮世帯への配分の他、支部社協と歳末事業申請のあった福祉団体へ配分されました。

## 8 事業展開に向けた組織基盤の強化

上尾市成年後見センター事業を受託するため人員強化を行い、法人後見事業を新規に開始するに当っては職員の研修に積極的に取り組みました。また、職場全体で「第3次地域福祉計画及び第6次地域福祉活動計画」について学習を行い社協の役割を確認し、職員個々のキャリアアップ形成には県社協が主催する研修に参加いたしました。

さらに施設・事業所内での虐待を防止するため「虐待防止委員会」を創設して外部委員にご意見をいただき、職員の研修を含めた取り組みを行いました。

コロナ禍の対応としては、感染症の対応を含め職員の安全確保や事業が滞りなく継続できるよう、職場会議や衛生委員会に則り対応してきました。

# 1 生活相談と支援活動の推進～個別相談機能の充実～

総合相談の実施

担当部署：地域福祉課

事業項目及び計画、概要

実施状況及び次年度への課題等

## (1) 日常生活自立支援事業 (福祉サービス利用援助事業の実施)

- ・相談に対しては、他機関と連携しながら契約に結びつけ、自立した生活が継続できるように支援していきます。
- ・契約締結後は、専門員と生活支援員が協力をして利用者支援に努めていきます。
- ・生活支援員との情報共有を図るとともに、研修等による支援員の育成に努めていきます。

認知症高齢者等が地域で自立した生活が送れるよう、福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理などの活動（支援）を行いました。

新型コロナウイルス感染症に対しては、感染予防を徹底し支援を行った。委嘱の生活支援員による活動（支援）については縮小し、臨時職員的生活支援員には、新型コロナ感染拡大前の活動内容に戻し、支援を行いました。

今後、生活支援員を確保しなければ、新規契約者への対応が困難となってしまうため、生活支援員の増員が課題です。

(1) 相談援助件数 ( ) 前年度

	認知症 高齢者	知的障 がい者	精神障 がい者	不明・ その他	合 計
a 問合せ件数 (制度、事業について)	30 (39)	2 (10)	25 (30)	3 (3)	60 (82)
b 初回相談件数 (初回相談受付)	12 (14)	1 (1)	5 (9)	0 (0)	18 (24)
c - 1 相談援助 件数 (a b以外)契約前	146 (89)	9 (26)	73 (71)	0 (1)	228 (187)
c - 2 相談援助 件数 (a b以外)契約後	479 (233)	102 (88)	162 (156)	1 (0)	744 (477)
合計	667 (375)	114 (125)	265 (266)	4 (4)	1,050 (770)

(2) 契約実績 ( ) 前年度

対象者	前年度 (継続)	新 規	解 約	年度末 契約人数
認知症高齢者	15 (12)	2 (4)	4 (1)	13 (15)
知的障がい者	6 (4)	1 (3)	0 (1)	7 (6)
精神障がい者	11 (10)	1 (1)	0 (0)	12 (11)
その他	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)
合計	33 (27)	4 (8)	4 (2)	33 (33)

(3) 生活支援活動

①生活支援員 委嘱2名 臨時職員2名

②活動実施回数

対象	認知症 高齢者	知的障 がい者	精神障 がい者	その他	計
回数	247 (215)	92 (94)	118 (137)	12 (12)	469 (458)

※活動実施回数のうち生活支援員の活動実施実績 189回

<p><b>(2) 福祉資金・緊急生活資金の貸付</b></p> <p>①福祉資金貸付（上尾社協実施、上尾社協申請窓口） 貸付限度額：5万円（償還期限1年以内・無利子）</p> <p>②被（要）保護者及び生活困窮者自立支援事業契約者緊急生活資金貸付（上尾社協実施、上尾市生活支援課申請窓口） 貸付限度額：必要な額（無利子） ※ただし、生活困窮者自立支援事業契約者の場合は2万円（無利子）を上限</p> <p>相談者から直接相談を受けるほか、住民、区会、町内会、自治会、地域包括支援センター、民生委員・児童委員などから連絡、情報提供を受け、対象者へ連絡・訪問し相談に応じます。また、関係機関や関係先とも連携し相談者に最適なプランの検討をします。</p> <p>上尾市生活支援課（くらしサポート相談窓口）との連携、情報共有。</p>	<p>令和4年度の新規相談件数は13件、貸付件数は1件。 9月30日で特例の緊急小口資金及び総合支援資金の受付が終了し、通常の貸付相談が増えてきました。貸付の対象にならない世帯については、市（くらしサポート相談窓口）と連携し相談対応を行いました。</p> <p>令和4年度の貸付件数295件（貸付額6,898,070円） 前年度実績の163件から約1.8倍の増加となりました。特例総合支援資金・特例緊急小口資金の貸付が昨年9月末をもって終了となり、それ以降も増収の見込みが持てない世帯の生活保護申請が増加していることが要因として推測されます。市生活支援課によると、過去に生活保護を受けて就労等でいったん自立した世帯が、再び生活保護の再申請となるケース、また年度末に派遣社員等で契約期間が終了により失業ケースなど、困窮による相談が増加傾向であったとのこと。特例貸付による継続的な貸付施策の終了や長期化するコロナ禍による物価高騰等により、慢性的な困窮世帯からの相談が増加し、最終的なセーフティーネットである生活保護につながる等、市と連携しながら対応をしました。</p>
<p><b>(3) 生活福祉資金の貸付</b></p> <p>①生活福祉資金貸付 （埼玉県社協実施、上尾社協申請窓口）</p> <p>相談者から直接相談を受けるほか、住民、区会、町内会、自治会、地域包括支援センター、民生委員・児童委員などから連絡、情報提供を受け、対象者へ連絡・訪問し相談に応じます。また、埼玉県社協や民生委員・児童委員と連携し相談者に最適なプランの検討をします。</p>	<p>基本的に低所得世帯を対象とする生活福祉資金の貸付において、貸付相談の大半は新型コロナウイルスの感染拡大の影響による減収等が原因であったため、特例緊急小口及び特例総合支援資金での対応となりました。後期は、特例貸付による継続的な貸付施策が終了した為、通常貸付の相談が昨年度より増加傾向となりました。</p> <p>また、従来民生委員にも申請世帯へのかかわりを担っていたのですが、コロナ禍により直接のかかわりが途絶えてしまっており、必要に応じて申請及び償還に関してのかかわりを依頼しました。</p>



## 実績

( ) 前年度

貸付事業名	新規 相談 件数	借受者 相談 件数	貸付 件数	貸付金額 (円)
上尾市福祉 資金	13 (4)	25 (8)	1 (0)	20,000(市) (0)
総合支援資金	24 (9)	33 (28)	0 (0)	0(県) (0)
福祉資金 福祉費	39 (46)	16 (30)	0 (4)	0(県) (4,806,000)
福祉資金 緊急小口資金	69 (17)	37 (5)	4 (1)	357,000(県) (100,000)
教育支援資金	14 (8)	28 (17)	2 (0)	2,102,000(県) (0)
不動産担保型 生活資金	10 (9)	6 (4)	0 (0)	0(県) (0)
臨時特例つなぎ資 金	0 (0)	0 (0)	—	0(県) (0)
要保護者・生活困窮 者自立支援事業契 約者緊急生活資金	—	—	295 (163)	6,898,070(市) (3,484,291)

※(県)は県社協の貸付、(市)は本会の貸付

## ②【特例】緊急小口資金、【特例】総合支援資金の貸付

(埼玉県社協実施、上尾社協申請窓口)

新型コロナウイルス感染拡大の影響により減収した世帯の資金需要に対応するため、埼玉県社会福祉協議会を実施主体とする生活福祉資金貸付制度の【特例】貸付を実施。市社協では相談及び申込受理業務を令和2年3月25日より開始しています。

国の施策として、長期化するコロナ禍に対応するために、特例総合支援資金の延長貸付(R2)及び再貸付(R3)を実施し、貸付による対応を延長してきましたが、令和4年9月末をもって特例総合支援資金・特例緊急小口資金の申請受付が終了となりました。今年度の貸付決定件数は、前年度実績の約1割に減少しており、申請受付の終了及び新規のみの申請受付となっていたことが要因と推測されます。

しかし、単にコロナ禍による影響が減少し、生活状況が好転したわけではないことは、緊急生活資金の貸付件数の増加からもうかがえます。

今後は、この【特例】貸付が令和4年9月30日で終了したことにより、10月以降は、通常の資金対応となり、世帯状況の確認を丁寧に行いながら、貸付以外の方法(生活保護、現物給付等)も含めて関係機関と連携しました。

## 実績

( ) 前年度

資金種別	相談・問合せ 件数(延べ)	貸付決定 件数	貸付決定金額 (円)
【特例】緊急小 口資金	274 (956)	169 (738)	30,930,000 (136,185,000)
【特例】総合支 援資金	330 (2,316)	164 (1,997)	84,410,000 (1,043,950,000)
合計	604 (3,272)	333 (2,735)	115,340,000 (1,180,135,000)

**(4) 行路者旅費の支給**

上尾市に辿り着いた行路者（現に所持金がなく旅費等に困窮し、他から融通できない者）に対して、1人300円以内を限度として旅費を支給します。

JR回数券での支給で対応してきましたが、令和4年9月末日をもって回数券の販売が終了となり、使用期限が3か月のため、回数券による支給は令和4年12月末日をもって継続不可能な状況となりました。

支給方法については、もともと現金支給をしていましたが、リピーターや目的外使用者が増加したことにより、回数券により用途を限定する対応に変更し現在に至っています。

移動を目的とした行路者が、その土地その土地にてリレーのように繋がる支援環境があつてこそ事業効果が得られますが、JR高崎線沿線においては、さいたま市の事業終了（R2年度）により、東京方面から北への通路が絶たれ、その範囲も広いことが調査により判明し、周辺環境の変化により、事業実施による効果が得られないと判断し、実施の協定を結ぶ市生活支援課との協議を重ね、事業終了を決定しました。

移動に関する支援事業としては終了となりますが、生活全般の相談として同様の内容があつた場合には、市と連携しながら対応していきます。また、行路者旅費支給要綱施行当時と比べ、生活困窮者に対する支援環境も選択肢が増えていることもあり、相談に対応する基盤は整っています。

事業終了日：令和4年12月16日

**【参考】近年の利用者数**

R2年度 6人

R3年度 4人

R4年度（10月末時点）0人

**(5) 要（準要）保護児童生徒  
遠足費の援助**

経済的理由により遠足等に参加することが困難な要保護及び準要保護児童生徒に対し、この費用の一部を援助します。

林間学校等の宿泊事業が多くの小中学校において再開されたため、申請者数の大幅な増加となりました。

実績

( ) 前年度

	小学校		中学校	
	対象者	金額（円）	対象者	金額（円）
遠足 要保護	10 (11)	19,527 (20,773)	2 (3)	5,582 (8,500)
林間 準要保護	90 (84)	863,412 (775,272)	141 (76)	1,099,826 (576,553)
合計	100 (95)	882,939 (796,045)	143 (79)	1,105,408 (585,053)

## (6) 心配ごと相談

相談者からの直接受付のほか、住民、区会、町内会、自治会、地域包括支援センター、民生委員・児童委員などから連絡、情報提供を受け、対象者へ連絡・訪問し相談内容には親身に応じます。

### ① 受付窓口

：地域福祉課 月～金曜日（年末年始、祝祭日を除く）

### ② 各社協支部拠点初期相談窓口

：開所日は各支部拠点により異なります。

毎日型の心配ごと相談として、電話や来所等により、住民の相談を受け止め、必要に応じて専門機関等へ繋ぐ支援をしました。新型コロナウイルス感染症の影響による特例の緊急小口資金等の貸付が令和4年9月30日で終了したことや物価が高騰したことにより、今後の生活についての不安や金銭的な悩みについての相談が多く、関係機関と連携しながら、継続的な支援を行いました。

市社協における心配ごと相談件数 ( ) 前年度

相談内容	相談件数(合計)
介護に関すること	16 (28)
健康に関すること	29 (26)
近隣に関すること	29 (31)
子育てに関すること	8 (4)
精神面に関すること	22 (53)
生活面に関すること	288 (205)
その他	30 (53)
合計	422 (400)

相談種類	相談件数 (合計)
来所	21 (18)
電話	367 (358)
FAX	0 (0)
メール	4 (0)
訪問	24 (15)
その他	6 (9)
合計	422 (400)

支部ごとの開所日数が異なるため、件数に幅があるが、総じて支部拠点における相談件数は前年度よりも増加しています。生活全般の困りごとの他、支部活動の再開がされたことにより、支部関係者、ボランティア、自治会等との連絡調整等、拠点におけるやりとりは1割ほどの増加となりました。

13 支部拠点の初期相談 ( ) 前年度

支部	困りごと	各種問合せ (支部事業等)	コミュニケーション (立ち寄り)	その他	合計
上尾東	8 (2)	1,458 (1,344)	13 (32)	4 (8)	1,483 (1,386)
上尾西	4 (1)	1,381 (972)	13 (0)	2 (0)	1,400 (973)

支部	13 支部拠点の初期相談 ( ) 前年度				合計
	困りごと	各種問合せ (支部事業等)	コミュニケーション (立ち寄り)	その他	
上尾南	4 (7)	1,653 (1,441)	0 (1)	5 (14)	1,662 (1,463)
平方	0 (1)	574 (432)	19 (12)	0 (0)	593 (445)
原市	5 (4)	1,422 (1,521)	0 (5)	1 (0)	1,428 (1,530)
大石東	8 (5)	966 (698)	0 (0)	0 (1)	974 (704)
大石西	1 (0)	846 (651)	0 (0)	0 (0)	847 (651)
上平	9 (6)	3,347 (2,398)	45 (44)	7 (17)	3,408 (2,465)
大谷	1 (1)	1,862 (1,707)	0 (0)	0 (0)	1,863 (1,708)
原市団地	27 (29)	2,162 (1,819)	0 (0)	3 (39)	2,192 (1,887)
尾山台団地	3 (1)	887 (724)	82 (87)	93 (115)	1,065 (927)
西上尾第一団地	58 (29)	1,821 (1,386)	47 (17)	3 (1)	1,929 (1,433)
西上尾第二団地	9 (18)	788 (730)	29 (103)	60 (93)	886 (944)
合計	137 (104)	19,167 (15,823)	248 (301)	178 (288)	19,730 (16,516)

  

	相談援助件数	
	問い合わせ件数	問い合わせ件数の内 初回相談件数
制度説明 (任意後見)	59	22
制度説明 (法定後見)	602	141
申立手続き	195	11
親族後見人等の支援	20	3
諸制度	77	16
問い合わせ	38	23
その他	60	9
合計	1,051	232

研修・勉強会については、17団体から依頼があり、15団体実施しました。

市民向け成年後見講演会を2月に実施し、319名の参加がありました。

	<p>成年後見制度に関する相談に電話、来所、訪問等により対応しました。</p> <p>電話対応 804 件、来所対応 172 件、訪問対応 63 件 新規相談者は 232 名でした。</p> <p>相談は、その月によって傾向が変わり、7 月は金融機関から成年後見制度利用を勧められた方、10 月は申立手続きの相談、支援が多く、12 月は障害者関係の方でした。</p> <p>センターでの申立て支援は、親族申立てが多く、大部分の方が親族後見人を希望していました。</p> <p>介護支援専門員等、関係機関からの相談や問い合わせでは、対象者本人は困っていないが、関係者が困っている相談が、年度後半、若干目立ち始めています。</p> <p>運営委員会：年 2 回（7 月、3 月） オンライン開催 支援調整会議：7 月以降、毎月一回開催 オンライン開催</p>
<p><b>(7) 法人後見事業</b></p> <p>日常生活自立支援事業の利用者で、制度への移行が必要となっている者を受任し、後見業務を行いながら、業務スキルの向上を図ります。</p>	<p>内部検討会議（6 月）</p> <p>日常生活自立支援事業の利用者で 1 名、法人で受任可能か検討し後見人等候補者として市長申立てしました。10 月中旬に受任となり、裁判所へ 11 月、初回報告を済ませました。</p> <p>内部検討会議（2 月）</p> <p>成年後見センター支援調整会議で法人後見が望ましいと思われた 2 名の方について、受任が可能か検討を行い、受任可能と判断されました。</p>

## 2 支部社協活動の推進

支部社協及び小地域福祉活動の推進

当部署：地域福祉課

### 事業項目及び計画、概要

### 実施状況及び次年度への課題等

#### (1) 支部活動の推進及び支援

上尾市内に13の社協支部を設置しています。

令和4年度は、コロナ禍において、感染対策と利用者及び活動者双方の合意を基本とした支部事業を活性化し、つながりの再構築と、新たなつながりを生み出し、フレイルと孤立防止に取り組みます。

令和4年度、地域福祉に関する行政計画である第3次地域福祉計画と地域福祉の実践計画である市社協の第6次地域福祉活動計画が合同で新たに策定されました。

支部長会議及びコーディネーター会議で、支部活動の方向性を確認しながら、支部活動の推進を行いました。

第1回支部長会議では、計画の冊子と概要版を配布し、活動計画に書かれている内容を支部の関係者と共有しました。

長期化するコロナ禍で、支部や各自治会の取組にも格差が出ている人とのつながりの希薄化などの課題から、改めて、人と人とが顔を合わせつながる取り組みがいかに大切かを感じました。そこで、支部長会議を通じ、感染対策を講じながらも工夫して事業展開が出来るよう、会議や情報共有を重ね、支部の事業計画に沿って進めていただくよう努めました。後期には、支部全体で集まる事業は中止していた支部も後期では、感染予防対策を講じながら工夫し再開を判断した支部が多くありました。また、小地域（顔の見える生活エリア）では時間制限や人数制限、屋外での活動などを展開し、顔を合わせる交流活動や配布物などを利用して安否確認を含めた見守り訪問など継続的に実施しました。

第2回支部長会議では、オンラインによる会議開催を実施し、令和5年度の社協支部活動に向けて支部の役割を明確に出来るよう具体的な目標や支部を応援するための市社協による助成金による継続的な支援や市社協が考える方向性について提案しました。

#### ○支部長会議の開催（3回）

##### 主な内容

- ・第3次上尾市地域福祉計画・第6次上尾市地域福祉活動計画の推進について
- ・令和4年度支部事業について
- ・地域福祉懇談会について
- ・上尾市成年後見センター開所について
- ・令和4年度世帯・個人会員会費協力依頼について
- ・支部活動の情報交換について
- ・令和5年度事業計画について

##### 会議日程

- ・令和4年 6月 3日（金）
- ・令和4年12月 8日（木） ※ZOOM オンライン
- ・令和5年 3月 3日（金）

	<p>②コーディネーター会議の開催 (3回)</p> <p>会議日程</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年 6月14日(火)</li> <li>・令和4年12月 8日(木) ※ZOOM オンライン</li> <li>・令和5年 3月 9日(木)</li> </ul>																																								
<p><b>(2)安心・安全見守りネットワーク活動(あったか見守り事業)の推進</b></p> <p>コロナ禍において、「孤立」や「フレイル」が懸念されるため、感染対策を徹底したうえで、支部拠点を開所し、利用者や活動者双方の合意による通常活動の再開をします。また、「顔を合わせる」形での見守り及び「困りごとの相談」を受け、つないでいきます。</p>	<p>今年度もコロナ禍での感染対策に十分留意しながら、人との出会いや顔を合わせる機会が減少した利用者の孤立やフレイル(心身の虚弱)が懸念されることから、引き続き活動者・利用者の状況把握に努めながら、利用者の希望に沿った内容で見守り活動を実施しました。顔見知りである協力員が拠点から電話で声を届けたり、距離を保ちながら顔を合わせたり、玄関越しでの会話など、工夫を凝らしながら利用者とのつながりが切れないよう取り組みました。</p> <p>今年度の新規利用者数は27名、利用廃止者は39名でした。利用廃止の理由の7割は、施設入所及び死亡によります。例年、新規利用者の増加と上記理由の減少で全体の利用者数は横ばいとなりました。そのような中でも、コロナ禍で人との関りが少なく今後の生活に不安を感じている方や訪問時による民生委員、地域包括支援センター等からフレイル化が見られるとの相談を受け「あったか見守りサービス」につながっています。今後も支部や自治会事業に出向き、事業のPRをしながら、より多くの方が地域の方々とつながりが構築されるよう努めていきます。</p> <p>①見守り協力員会議の開催</p> <p>通常2ヶ月に1回程度開催していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、必要に応じての会議のとなりました。</p> <p>コロナ禍で対象者の体調の変化に気づき、必要に応じて包括支援センターの職員や担当ケアマネジャー、担当民生委員等へ相談し情報の共有を図りました。</p> <p>②見守り活動の状況 ( ) 前年度</p> <table border="1" data-bbox="694 1552 1449 2018"> <thead> <tr> <th>支部</th> <th>対象者 (登録者数)</th> <th>見守り協力員 (登録者数)</th> <th>活動回数 (延べ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上尾東</td> <td>11(10)</td> <td>7(8)</td> <td>247(413)</td> </tr> <tr> <td>上尾西</td> <td>9(8)</td> <td>9(8)</td> <td>142(202)</td> </tr> <tr> <td>上尾南</td> <td>15(9)</td> <td>9(9)</td> <td>398(239)</td> </tr> <tr> <td>平方</td> <td>5(4)</td> <td>6(6)</td> <td>60(65)</td> </tr> <tr> <td>原市</td> <td>14(21)</td> <td>10(13)</td> <td>278(426)</td> </tr> <tr> <td>大石東</td> <td>5(7)</td> <td>11(12)</td> <td>95(136)</td> </tr> <tr> <td>大石西</td> <td>4(4)</td> <td>8(6)</td> <td>66(73)</td> </tr> <tr> <td>上平</td> <td>24(26)</td> <td>14(13)</td> <td>754(814)</td> </tr> <tr> <td>大谷</td> <td>10(15)</td> <td>14(15)</td> <td>213(546)</td> </tr> </tbody> </table>	支部	対象者 (登録者数)	見守り協力員 (登録者数)	活動回数 (延べ)	上尾東	11(10)	7(8)	247(413)	上尾西	9(8)	9(8)	142(202)	上尾南	15(9)	9(9)	398(239)	平方	5(4)	6(6)	60(65)	原市	14(21)	10(13)	278(426)	大石東	5(7)	11(12)	95(136)	大石西	4(4)	8(6)	66(73)	上平	24(26)	14(13)	754(814)	大谷	10(15)	14(15)	213(546)
支部	対象者 (登録者数)	見守り協力員 (登録者数)	活動回数 (延べ)																																						
上尾東	11(10)	7(8)	247(413)																																						
上尾西	9(8)	9(8)	142(202)																																						
上尾南	15(9)	9(9)	398(239)																																						
平方	5(4)	6(6)	60(65)																																						
原市	14(21)	10(13)	278(426)																																						
大石東	5(7)	11(12)	95(136)																																						
大石西	4(4)	8(6)	66(73)																																						
上平	24(26)	14(13)	754(814)																																						
大谷	10(15)	14(15)	213(546)																																						

支部	対象者 (登録者数)	見守り協力員 (登録者数)	活動回数 (延べ)
原市団地	8(12)	8(9)	151(183)
尾山台団地	11(12)	9(11)	241(241)
西上尾第一団地	3(4)	3(4)	78(92)
西上尾第二団地	71(77)	22(22)	1,808(1,783)
合計	190(209)	130(136)	4,531(5,213)

③訪問時の生活支援状況 ( ) 前年度

支部	作業	買い物	主な作業内容
上尾東	1(0)	4(0)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 買い物支援</li> <li>・ 郵便物届け</li> <li>・ 庭木の剪定</li> <li>・ 花の水くみ</li> <li>・ 洗濯物干し</li> <li>・ 植木鉢破棄</li> <li>・ 文書代読</li> </ul>
上尾西	0(3)	0(1)	
上尾南	2(13)	1(2)	
平方	0(0)	0(0)	
原市	2(3)	0(2)	
大石東	22(24)	0(0)	
大石西	11(2)	2(0)	
上平	0(1)	0(0)	
大谷	0(1)	0(0)	
原市団地	1(2)	0(0)	
尾山台団地	0(0)	0(0)	
西上尾第一団地	3(17)	0(0)	
西上尾第二団地	0(0)	0(0)	
合計	42(66)	7(5)	

(3) 地域交流サロン等活動の支援

「地域交流サロン事業」

コロナ禍において、感染対策を徹底したうえで、「顔を合わせる」つながるための活動や方法を検討し住民の孤立やフレイルの防止に取り組みます。

前年度に実施した「フレイル度チェックアンケート調査」の結果から、長引く活動の自粛によってサロン参加者及び活動者のフレイル状態が顕著であり、いかに集まる形でのサロン活動が孤立防止とフレイル予防にとって大切であることが分かりました。そこで、今年度については、月1回程度、集まる形での地域交流サロン事業に対して助成金交付支援を継続としました。また、新型コロナウイルス感染状況等により、集まる形で実施できない場合でも、代替の方法で(集まらないでつながる方法等)月1回程度の実施をしたサロン事業にも支援しました。

継続的に集まる形で開催された地区については、支部担当職員が、サロンに参加し、社協 Twitter で積極的に紹介しました。

「地域交流サロン」計48ヶ所(支部主催サロン3ヶ所含む)

支部	区会・町内会・自治会	備考
上尾東	緑丘、上尾東団地	
上尾西	柏座一丁目、柏座二丁目、柏座三丁目、谷津一丁目、谷津二丁目、富士見、富士見団地、ソフィア上尾、パーク上尾	



		「地域交流サロン」	
支部	区会・町内会・自治会	備考	
上尾南	仲町、陣屋		
平方	新田、丸山団地		
原市	原市二区、原市三区、原市五区、原市七区、原市九区、原市十区、柳通り北区	支部主催 サロン1	
大石東	小泉		
大石西	小敷谷西部、畔吉東部		
上平	町谷、宮の下、上新梨子、南新梨子、下組、新田、須ヶ谷、上平塚、中平塚、ビレッジハウス上尾、上尾第一団地、シラコバト団地、錦町		
大谷	向山、西宮下二区、戸崎団地		
原市団地	原市団地		
尾山台団地	尾山台団地	支部主催 サロン1	
西上尾第一団地	西上尾第一団地		
西上尾第二団地	西上尾第二団地	支部主催 サロン1	

  

<p><b>(4) 上尾西地域福祉センターの運営</b></p> <p><b>場所：上尾市小敷谷858-5</b></p> <p>コロナ禍において、感染対策を徹底したうえで、福祉団体の活動支援に努めます。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、引き続き制限付きで開館しました。事業については、福祉機材の貸し出し、印刷機の使用、ボランティア活動保険等の一部業務のみの対応をしました。</p> <p>また、長引く活動の自粛によってサロン参加者及び活動者のフレイル状態が顕著であることから、サロン代表者へ再開の意向確認を行い、再開の希望のある4団体について、感染対策を徹底したうえで活動支援に努めました。</p> <p>しかしながら、上尾市が実施した耐震診断の結果、耐震基準を満たしていないことが判明し、現状の建物を継続して使用することが出来ず年内をもって閉鎖することになりました。対応策としては、新たな移転先の準備が整うまでの間、上尾西地域福祉センター事業の一部を上尾市コミュニティセンター内ボランティアビューローで継続出来るようにしました。</p> <p>①運営・利用概況 ( ) 前年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開所日数 245日 (247日)</li> <li>・利用者数 延べ796人 (482人)</li> <li>・会議室登録団体 26団体 (25団体)</li> </ul>
--	--

	<p>②目的別利用状況( )前年度</p> <table border="1" data-bbox="692 203 1061 589"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>利用者数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>会議室</td> <td>13(22)</td> </tr> <tr> <td>印刷機・ コピー</td> <td>143(187)</td> </tr> <tr> <td>サロン</td> <td>441(209)</td> </tr> <tr> <td>相談</td> <td>3(2)</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>196(174)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>796(594)</td> </tr> </tbody> </table> <p>③地域別利用状況( )前年度</p> <table border="1" data-bbox="1098 203 1465 589"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>利用者数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>西上尾第 一・第二</td> <td>125(54)</td> </tr> <tr> <td>大石</td> <td>470(400)</td> </tr> <tr> <td>大谷</td> <td>61(34)</td> </tr> <tr> <td>平方</td> <td>78(44)</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>62(62)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>796(594)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※R5年1月～3月は上尾市コミュニティセンター内ボランティアビューロー継続来館者数含む</p>	区分	利用者数(人)	会議室	13(22)	印刷機・ コピー	143(187)	サロン	441(209)	相談	3(2)	その他	196(174)	合計	796(594)	区分	利用者数(人)	西上尾第 一・第二	125(54)	大石	470(400)	大谷	61(34)	平方	78(44)	その他	62(62)	合計	796(594)
区分	利用者数(人)																												
会議室	13(22)																												
印刷機・ コピー	143(187)																												
サロン	441(209)																												
相談	3(2)																												
その他	196(174)																												
合計	796(594)																												
区分	利用者数(人)																												
西上尾第 一・第二	125(54)																												
大石	470(400)																												
大谷	61(34)																												
平方	78(44)																												
その他	62(62)																												
合計	796(594)																												
<p><b>(5)生活支援体制整備事業 (第1層・第2層)</b></p> <p>第1層生活支援コーディネーターは、第2層生活支援コーディネーターと連携し、市全域における社会資源の把握及び開発に努めます。また、ボランティアセンターと連携し、講座の開催や研修を実施し、人材の発掘・育成を行い、第2層での活動に結び付けることに努めます。</p> <p>第2層生活支援コーディネーターは、日常生活圏域(13社協支部圏域)を対象とした生活支援、介護予防サービスのコーディネート等に関する業務を行います。</p> <p>令和4年度は、上尾西支部を新たに推進支部として位置付け、互助力の向上を目指し取り組みます。</p> <p><b>*全13支部が推進支部の位置づけとなる</b></p>	<p>長引くコロナ禍ではあるものの、高齢者の社会的な孤立が懸念されるため、これまでのつながりを切らない取り組みを継続して行いました。</p> <p>「主な事業」</p> <p>①啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あげお社協だより発行</li> <li>6月号:コロナ禍における地域の取組み 大石地区泉台自治会「支え合い活動」の啓発</li> <li>10月号:あったか見守りサービスの啓発</li> <li>2月号:地域の取組みWithコロナ 社協西上尾第二団地支部「コミュニティカフェわいわい」集える場所の立ち上げによる啓発</li> </ul> <p>②調査・研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・後期に向けて、再開しているサロン活動団体へ「フレイルチェックアンケート」調査依頼の実施をしました。</li> </ul> <p>③推進支部による互助活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上尾西支部:あったか見守りサービスのチラシを作成</li> <li>・上尾南支部(愛宕):助け合いあたごのチラシ、ポスター作成</li> <li>・西上尾第二団地支部:コミュニティカフェのチラシを作成</li> <li>・大石西支部:おいしい西フェス開催に伴うチラシ作成</li> </ul> <p>④既存団体との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上尾市リハビリテーション連絡協議会との連携により、サロン参加者への情報紙の発行「サロン通信(年12回)」</li> </ul> <p>⑤関係機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自立支援型地域ケア会議への参加:各地域包括支援センター主催で、第2層生活支援コーディネーターが助言者として出席。生活環境における社会資源の情報提供等を行いました。</li> </ul>																												

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「上尾市 地域交流サロン事業 集いの場マップ」を紙ベースで作成しました。インフォーマルなサービスとして活用していただくため、上尾市高齢介護課、地域包括支援センター、居宅事業所に配布しました。</li> <li>・第2層生活支援体制整備事業報告会の実施：4半期ごとに、（7月、10月、1月）高齢介護課地区担当、包括支援センターとの報告会にて、第2層圏域の地域課題について意見交換を行いました。</li> <li>・上尾市保険年金課と高齢介護課との連携により、地域の高齢者を対象としたフレイル予防事業の実施を行いました。今年度はフレイルの普及啓発活動として、大石地区（浅間台、畔吉東部）、大谷地区（大谷本郷）に協力をいただき実施しました。</li> <li>・地域への認知症の理解を広げるために、上尾市認知症初期集中支援チームとの連携で、支部圏域による見守り協力員を対象に学習会を実施しました。（原市、大谷、尾山台団地）</li> </ul>
<p><b>（6）地域福祉を考える集いの開催</b></p> <p>地域福祉懇談会等により、地域における共通課題を把握したうえで、住民参加のシンポジウムとして開催する予定です。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大状況により、令和3年度同様にオンラインでの開催も検討します。</p>	<p>「第32回地域福祉を考える集い」</p> <p>テーマ：「災害に備える ～私たちは何ができるのか～」</p> <p>日 時：令和5年2月18日（土）</p> <p style="text-align: center;">13：00～15：30</p> <p>場 所：上尾市コミュニティセンターホール</p> <p>動画配信：コロナ禍で来場できなかった方や再度視聴できるように上尾市公式YouTubeチャンネルにて配信しました。</p>

### 3 市民活動・ボランティア活動の推進及び地域福祉財源の獲得

市民活動・ボランティア活動の推進

担当部署：地域福祉課

#### 事業項目及び計画、概要

#### 実施状況及び次年度への課題等

#### (1) ボランティアセンター及び、ボランティアビューローの運営

1) 地域共生社会SDGsの取り組み  
SDGs（エスディーゼイズ）とは、一人ひとりが社会の課題を意識し、自身の生活を見直していきまこと、世界中の人々のより良い暮らしを守っていくための取り組みです。現在行われているボランティア活動や福祉活動が、既にSDGsの取り組みであることを住民へ発信していきます。

夏休みボランティア体験2022で、自分とは違う年齢の人、自分とは違う環境で生活している人を知ることともSDGsの第一歩であることを発信しました。

① ボランティア活動状況 ( ) 前年度

区分	件数等
登録ボランティアグループ数	40 団体 / 637 人 (37 団体 / 628 人)
ボランティア活動保険加入者数	3,423 人 (3,263 人)

② ボランティア相談状況 ( ) 前年度

区分	件数	
ボランティア相談件数	115 (41)	
内訳	活動調整	48 (26)
	依頼調整	29 (9)
	その他（情報提供等）	38 (6)

③ ボランティア派遣状況 ( ) 前年度

相談者	派遣件数	内容
個人(高齢者)	0 (1)	
個人(障がい者)	1 (2)	点訳
福祉施設(高齢者)	6 (0)	音楽支援
福祉施設(障がい者)	1 (1)	音楽支援
福祉施設(子ども)	1 (1)	音楽支援
支部・地域	4 (1)	音楽支援
障害者団体等	1 (0)	チラシ配布手伝い
企業等	0 (0)	
その他	1 (1)	福祉体験講師
合計	15 (7)	

#### 2) 夏休みボランティア体験

コロナ禍により、ほとんどのボランティア活動は休止している状態ですが、ボランティアの必要性は、福祉施設や地域住民など多くの方が感じていることです。コロナ禍でも行えるボランティア活動を中心に、ボランティア体験を行い、ボランティア活動への参加のきっかけづくりのため実施します。

期間：7/26～8/24 メニュー数：8 参加者：115人  
コロナ禍で、市内福祉施設1メニューが中止となりましたが、オンラインでの活動を企画するなど、工夫しながら100名を超える方に参加していただきました。

<p><b>3) フードドライブの実施</b></p> <p>コロナ禍により、困窮している世帯が増えています。多くの人より良い暮らしを支えるための取り組みとして、また、フードパントリーや子ども食堂などを知ってもらう機会として実施します。</p>	<p>様々な理由により生活に困窮してしまった世帯を対象に、家庭等にある食品を持ち寄り、無償で提供するフードドライブに取り組みました。</p> <p>*県下一斉 日程：10/12～10/15 人数：116人 重量：1001.4kg</p> <p>*コープみらい 毎月第3木曜日に市内2店舗へ回収</p> <p>生活協同組合コープみらいと食品等の寄贈に関する覚書を締結し、市内2店舗で実施するフードドライブで集まった食品を困窮世帯などへ配布しました。</p>																			
<p><b>4) 学校における福祉体験</b></p> <p>小中学校の総合的な学習の時間等で行われる、福祉体験授業の支援を行います。</p> <p>① 当事者の方からの福祉講話 ② 障がい者の理解促進のための車いす・アイマスク体験等</p>	<p>普段の暮らしの中の生活課題から福祉課題に気づき、そのことを様々な人と共に考えながら、自分ごととして捉え、福祉について考えるきっかけづくりの活動として取り組みました。</p> <p>年度初めに福祉教育担当の教職員を対象に、福祉体験についての説明会を行いました。その後、福祉体験で使用する車いすのフットキャップの点検をし、安全に福祉体験(車いす、アイマスク、点字、手話等)を行いました。また、当事者の方からの福祉講話も行いました</p> <p><b>福祉体験学習支援及び研修</b> ( ) 前年度</p> <table border="1" data-bbox="715 1055 1458 1491"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>調整校</th> <th>件数等</th> <th>協力者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>11 (14)</td> <td>21件/1,896人 (24件/2,131人)</td> <td rowspan="2">障がい者・団体 (視覚、肢体、聴覚) ボランティアグループ</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>3 (3)</td> <td>3件/670人 (6件/642人)</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>16 (17)</td> <td>2件/16人 (2件/17人)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>30 (34)</td> <td>26件/2,582人 (32件/2,790人)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	調整校	件数等	協力者	小学校	11 (14)	21件/1,896人 (24件/2,131人)	障がい者・団体 (視覚、肢体、聴覚) ボランティアグループ	中学校	3 (3)	3件/670人 (6件/642人)	教職員	16 (17)	2件/16人 (2件/17人)	—	合計	30 (34)	26件/2,582人 (32件/2,790人)	
区分	調整校	件数等	協力者																	
小学校	11 (14)	21件/1,896人 (24件/2,131人)	障がい者・団体 (視覚、肢体、聴覚) ボランティアグループ																	
中学校	3 (3)	3件/670人 (6件/642人)																		
教職員	16 (17)	2件/16人 (2件/17人)	—																	
合計	30 (34)	26件/2,582人 (32件/2,790人)																		
<p><b>5) 作文コンクール</b></p> <p>埼玉県社会福祉協議会主催による作文コンクールを上尾市独自の表彰を取り入れて実施します。</p>	<p>普段の暮らしの中での家族、友人、地域の方などとのつながりや支え合いの体験を通して感じたことをテーマとしたコンクールを実施しました。表彰は「第32回地域福祉を考える集い」にて実施しました。</p> <table border="1" data-bbox="715 1693 1458 1957"> <thead> <tr> <th>応募学校数</th> <th>受賞作品</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校4校 (6人)</td> <td>最優秀賞 小学生・中学生各1名 市長賞 小学生・中学生各1名</td> </tr> <tr> <td>中学校4校 (9人)</td> <td>教育長賞 小学生・中学生各1名 審査員特別賞 小学生1名、中学生2名 優秀賞 小学生2名、中学生4名</td> </tr> </tbody> </table>	応募学校数	受賞作品	小学校4校 (6人)	最優秀賞 小学生・中学生各1名 市長賞 小学生・中学生各1名	中学校4校 (9人)	教育長賞 小学生・中学生各1名 審査員特別賞 小学生1名、中学生2名 優秀賞 小学生2名、中学生4名													
応募学校数	受賞作品																			
小学校4校 (6人)	最優秀賞 小学生・中学生各1名 市長賞 小学生・中学生各1名																			
中学校4校 (9人)	教育長賞 小学生・中学生各1名 審査員特別賞 小学生1名、中学生2名 優秀賞 小学生2名、中学生4名																			

<p><b>6) 福祉教育推進者講座</b>          学校等における福祉体験の支援時、一緒に協力していただける方を対象に講座を実施します。</p>	<p>現在、小中学校等の福祉教育支援を実施している内容や社協としての福祉教育の理念について講義をし、車いすやアイマスク体験を通して、児童・生徒が実際に体験している感覚をイメージしてもらいました。また、中学校に協力いただき、実際に福祉教育を行っている様子を見学しました。</p> <p>期日：2/24、3/1 人数：8人、6人          内容：車いす・アイマスク・白杖体験、福祉教育授業見学</p>																														
<p><b>7) その他ボランティア講座</b>          傾聴ボランティア講座、災害ボランティア養成講座を実施します。</p>	<p>傾聴ボランティア講座、災害ボランティア養成講座、手作りボランティア活動を実施しました。</p> <p>*傾聴ボランティア入門講座（全3回）</p> <table border="1" data-bbox="735 736 1458 943"> <thead> <tr> <th>日程</th> <th>人数</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2/15</td> <td>37</td> <td>傾聴について知ろう</td> </tr> <tr> <td>2/22</td> <td>36</td> <td>ロールプレイ</td> </tr> <tr> <td>3/1</td> <td>35</td> <td>ロールプレイ</td> </tr> </tbody> </table> <p>*災害ボランティア養成講座</p> <table border="1" data-bbox="735 1030 1458 1167"> <thead> <tr> <th>日程</th> <th>人数</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7/2</td> <td>14</td> <td>災害ボランティアの基本・心構え、土のう作り等</td> </tr> </tbody> </table> <p>*手作りボランティア活動</p> <table border="1" data-bbox="735 1254 1458 1473"> <thead> <tr> <th>講座名</th> <th>実施回数</th> <th>参加者</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ハンディモップを作ろう</td> <td>1</td> <td>44</td> <td>自宅でハンディモップを作る</td> </tr> <tr> <td>ぞうきんを作ろう</td> <td>1</td> <td>37</td> <td>自宅でぞうきんを作る</td> </tr> </tbody> </table>	日程	人数	内容	2/15	37	傾聴について知ろう	2/22	36	ロールプレイ	3/1	35	ロールプレイ	日程	人数	内容	7/2	14	災害ボランティアの基本・心構え、土のう作り等	講座名	実施回数	参加者	内容	ハンディモップを作ろう	1	44	自宅でハンディモップを作る	ぞうきんを作ろう	1	37	自宅でぞうきんを作る
日程	人数	内容																													
2/15	37	傾聴について知ろう																													
2/22	36	ロールプレイ																													
3/1	35	ロールプレイ																													
日程	人数	内容																													
7/2	14	災害ボランティアの基本・心構え、土のう作り等																													
講座名	実施回数	参加者	内容																												
ハンディモップを作ろう	1	44	自宅でハンディモップを作る																												
ぞうきんを作ろう	1	37	自宅でぞうきんを作る																												
<p><b>8) ボランティアビューローの運営</b>          ボランティアグループの活動場所の提供及びボランティア相談窓口として、上尾市コミュニティセンター内に拠点として設置します。また、印刷機やオンライン活動の機材などボランティア活動に必要な機材の貸出を行います。</p>	<p>年間を通じて、相談及び登録団体の活動で来所者数が大幅に増加しました。コロナ禍における活動自粛が、徐々に再開に向けた動きとなっていることが伺えます。また、ボランティア活動等の相談件数も大幅に増加しました。</p> <p style="text-align: right;">( ) 前年度</p> <table border="1" data-bbox="713 1727 1442 2033"> <thead> <tr> <th colspan="2">件名</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">ボランティアビューロー来所者数</td> <td>2,493 (583)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">内訳</td> <td>登録団体の利用 (定例会、貸出棚、活動)</td> <td>1,426 (352)</td> </tr> <tr> <td>ボランティア相談等</td> <td>95 (13)</td> </tr> <tr> <td>保険加入手続き</td> <td>75 (98)</td> </tr> <tr> <td>印刷、その他(寄付受け取り等)</td> <td>696 (120)</td> </tr> </tbody> </table>	件名		人数	ボランティアビューロー来所者数		2,493 (583)	内訳	登録団体の利用 (定例会、貸出棚、活動)	1,426 (352)	ボランティア相談等	95 (13)	保険加入手続き	75 (98)	印刷、その他(寄付受け取り等)	696 (120)															
件名		人数																													
ボランティアビューロー来所者数		2,493 (583)																													
内訳	登録団体の利用 (定例会、貸出棚、活動)	1,426 (352)																													
	ボランティア相談等	95 (13)																													
	保険加入手続き	75 (98)																													
	印刷、その他(寄付受け取り等)	696 (120)																													

9) 福祉器材の貸出

① 短期車いすの貸出 ( ) 前年度

区分	件数	日数
上尾市総合福祉センター (7台)	120 (104)	1043(866)
上尾西地域福祉センターほほえみ (2台)	10 (8)	79 (64)
市内支部拠点13か所 (各1台)	115 (56)	565 (354)

②福祉器材の貸出

区分	件数	日数	台数
車いす (総合福祉センター) (20台)	24 (24)	131 (111)	215 (240)
車いす (大谷中学校) (15台)	10 (13)	44 (43)	84 (128)
アイマスク・白杖 (40セット)	18 (19)	93 (66)	356 (368)
点字器 (80台)	10 (8)	57 (44)	483 (490)
高齢者疑似体験 (10セット)	11 (12)	44 (50)	60 (92)
募金箱	48 (16)	422 (469)	44 (12)
着ぐるみ (3体)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
綿あめ機 (1台)	2 (3)	18 (15)	2 (3)
ポップコーン機 (1台)	2 (2)	12 (10)	2 (2)
かき氷機 (1台)	3 (2)	16 (10)	3 (2)
テント (3張)	1 (0)	7 (0)	2 (0)
プロジェクター・スクリーン	5 (3)	12 (12)	4 (3)
福祉関係 DVD	2 (0)	16 (0)	2 (0)

(2) 善意銀行の受入れ及び払出し、感謝顕彰

社会福祉全般の向上発展を促進するため寄付者からの寄付金及び寄贈品の受入れを行います。

また、寄付者からの寄付金及び寄贈品に関しては、本会または福祉施設・団体等を指定していただき、寄付者の意向に沿って払出しを行います。

寄付金及び寄贈品の受入れについて、寄付者の意向に沿って払出しを行いました。

受入れ状況 ( ) 前年度

区分	件数	金額
寄附金 (本会のために)	42 (37)	1,846,748 円 (2,818,327 円)
施設指定 (市内福祉施設のために)	81 (65)	827,875 円 (1,193,581 円)
寄贈品	112 (62)	菓子類、食品類、介護用杖、手芸用品、車いす、タオル等

払い出し状況 ( ) 前年度

区分	件数	金額
施設指定寄付払出	64 (53)	630,773 円 (1,051,581 円)
申請払出 (交通遺児)	2 (3)	80,000 円 (80,000 円)
申請払出 (福祉事業)	2 (2)	200,000 円 (200,000 円)

### (3)ふれあい広場の支援

上尾市ふれあい広場は、障がいを持つ人たちの様々な問題に取り組み、より多くの人たちの理解を得ながら、障がい者の理解の促進、市民との交流を図る場として開催しています。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としました。

当初は障がい者の理解と参加を目指し、運動体として取り組んできましたが、現在は障がい者に対する理解も進み、社会参加できる機会も増えてきているため、今年度をもって開催終了となりました。



## 4 在宅福祉サービスの推進

在宅福祉サービスの推進

担当部署：在宅福祉課、かしの木園

事業項目及び計画、概要

実施状況及び次年度への課題等

### (1) 介護保険訪問介護事業

利用者及び職員・登録ホームヘルパーの安心安全を確保して支援が継続できるよう努めます。

感染状況を考慮しながら、登録ヘルパーの研修や、ケース会議の開催を実施していきます。

新型コロナウイルスに対する感染症予防に努めていますが、身近なところで感染が続き、ヘルパー派遣することが困難となることもありました。しかし、厳しい状況の中、支援を切らさないよう対応しています。

また、3年ぶりに、登録ホームヘルパーの集合型研修を実施しました。

実利用者数： 90人 ( 82人)

延利用者数：932人 (897人)

※令和5年3月末現在 ( ) 令和4年3月末現在

区分		利用件数	延利用時間数	利用時間比率 (%)
訪問介護	身体介護	1,369 (1,765)	1,363 時間 35 分 (1,572 時間 52 分)	16.4% (18%)
	生活援助	1,716 (1,756)	1,751 時間 30 分 (1,800 時間 50 分)	21.0% (21%)
	身体生活	2,029 (1,989)	2,808 時間 30 分 (2,768 時間 10 分)	33.7% (31%)
介護予防訪問介護		2,559 (2,754)	2,411 時間 40 分 (2,650 時間 47 分)	28.9% (30%)
合計		7,673 (8,264)	8,335 時間 15 分 (8,792 時間 39 分)	

### (2) 障害者等ホームヘルプサービス事業

利用者及び職員・登録ホームヘルパーの安心安全を確保して支援が継続できるよう努めます。

感染状況を考慮しながら、登録ヘルパーの研修や、ケース会議の開催を実施していきます。

実利用者数： 82人 ( 81人)

延利用者数：793人 (868人)

※令和5年3月末現在 ( ) 令和4年3月末現在

区分	利用件数	延利用時間数	利用時間比率 (%)
身体介護中心	2,593 (2,976)	2,093 時間 35 分 (2,407 時間 35 分)	14.4% (16%)
家事援助中心	3,431 (4,196)	3,574 時間 50 分 (4,498 時間 42 分)	24.5% (31%)
通院等介助(身体介護を伴う)	32 (0)	125 時間 38 分 (0 時間 00 分)	0.9% (0%)
同行援護	2,425 (2,301)	8,757 時間 36 分 (7,172 時間 45 分)	60.2% (53%)
重度訪問介護	0 (0)	0 時間 00 分 (0 時間 00 分)	0% (0%)
合計	8,481 (9,473)	14,551 時間 39 分 (14,810 時間 46 分)	

### (3) 移動支援事業

利用者及び職員・登録ホームヘルパーの安心安全を確保して支援が継続できるよう努めます。

感染状況を考慮しながら、登録ヘルパーの研修や、ケース会議の開催を実施していきます。

実利用者数： 18人 (16人)

延利用者数： 160人 (158人)

※令和5年3月末現在 ( ) 令和4年3月末現在

区分	利用件数	延利用時間数
移動支援	503 (571)	1,649時間50分 (1,856時間35分)

### (4) 地域活動支援センター事業

利用者が地域において自立した生活ができるよう、当該利用者又はその介護を行う者の身体その他の状況及びその置かれている環境に応じて、創作的活動の機会の提供、社会との交流の促進等を図るとともに、日常生活に必要な便宜を供与しています。

令和4年度は、感染症対策について、館内の利用時、手指消毒、検温、体調確認、マスクの着用、身体的距離の確保や換気等行う他、施設の利用制限、参加人数の制限を行うなど、利用者の安全安心に努めます。

利用者が安心して参加できるよう、新型コロナウイルス感染症対策を図りながら、創作的活動、社会訓練、機能訓練、スポーツ・レクリエーションの各教室を開催しました。会場等の都合により、教室が3回中止になりました。

創作的活動は、自分の趣味を活かした活動で、機能訓練は、身体維持向上のため体操や歩行訓練等行っています。

#### ①上尾市身体障害者福祉センター「ふれあいハウス」

教室実施回数：222回(224回)

利用者数：67人(63人)

延利用者数1,323人(1,146人)

内訳

( ) 前年度

事業名	利用者数	実施回数	延利用者数
リハビリ訓練教室	5(6)	34(34)	172(164)
健康体操教室	11(9)	10(10)	79(66)
パステル画教室	10(10)	12(12)	102(91)
簡単なお菓子作り教室	8(7)	11(11)	39(38)
簡単なお菓子作り (視覚障害者)	4(3)	2(3)	5(7)
パン教室①	8(8)	11(11)	40(44)
パン教室②	8(7)	9(10)	25(28)
スマイルカフェ教室	10(11)	3(2)	28(19)
歌声教室①	8(8)	9(10)	61(73)
歌声教室②	8(8)	11(11)	79(64)
フラワー教室	9(8)	3(4)	22(27)
絵手紙教室	7(4)	12(12)	73(53)
パソコン教室(初級)	7(5)	11(11)	63(37)
パソコン教室(中級)	6(7)	10(9)	47(60)
スポーツ・レクリエーション教室①	10(7)	10(10)	80(55)
スポーツ・レクリエーション教室②	10(7)	12(12)	106(78)
スポーツ・レクリエーション教室③	9(8)	11(12)	86(82)

	内訳	( ) 前年度			
		事業名	利用者数	実施回数	延利用者数
		スポーツ・レクリエーション教室④	9(7)	11(9)	85(55)
		失語訓練教室	4(4)	10(11)	43(27)
		健康吹矢教室①	5(4)	11(10)	51(35)
		健康吹矢教室②	5(4)	9(10)	37(29)
	②貸館利用状況	延利用団体数： 72 団体 (150 団体)			
		( ) 前年度			
		場所	延利用 団体数	場所	延利用 団体数
		社会適応 訓練室	60 (69)	作業用和室	12 (81)
		料理実習室	0 (0)	その他	0 (0)
<b>(5) 手話講習会の開催</b> ・入門手話講習会（聴覚障害者協会へ委託） ・基礎手話講習会（社協業務委託） ・手話通訳者養成講習会（聴覚障害者協会へ委託）	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策を図りながら各講習会を開催しました。	( ) 前年度			
		区分	実施回数	受講者数	
		手話講習会(入門編) (聴覚障害者協会委託)	21 (21)	20 (17)	
		手話講習会(基礎編)	25 (25)	9 (13)	
		手話通訳者養成講習会 (聴覚障害者協会委託)	36 (36)	8 (4)	

**(6) 手話通訳者派遣事業**

- ・登録手話通訳者定例会の開催 (年間6回)
- ・登録手話通訳者技術勉強会の開催 (年間6回)
- ・聴覚障がい者対象「健康講座」の開催 (年間1回)

医療機関への派遣件数は全体の6割を占めました。社協ふれあいハウス事業に、聴覚障がい者が多数参加しているため派遣件数が増加しました。

市役所主催の行事や会議等が再開されたため、昨年に比べ派遣件数が増加しました。

また、通訳にあたっては、新型コロナウイルス感染症対策として透明マスクの使用を行っています。

- ・派遣件数：1,158件(1,256件)
- ・手話通訳者延派遣人数：1,349人(1,395人)
- ☞専任421件/3人、登録928件/14人

派遣内訳 ( ) 前年度

区分	派遣件数		区分	派遣件数	
教育	45 (34)	4%	行政	31 (19)	3%
生活	208 (185)	18%	社協	116 (99)	10%
医療	696 (857)	60%	住宅	19 (17)	2%
職業	26 (30)	2%	その他	17 (15)	1%

- ・登録手話通訳者定例会：年間6回 49人
- ・登録手話通訳者技術勉強会：年間5回 29人
- ・聴覚障がい者対象「健康講座」は行わず、新たな公共サービスとなった「電話リレーサービス」の説明会を7/23開催し、15名参加。

**(7) リフト付車両「ふれあい号」運行事業**

身体障害者福祉法に規定する身体障害者手帳の交付を受けた、車いすを常時使用する方等に、車いすを使用した状態で乗降できる専用車での「医療機関への通院等」の送迎を行っています。

令和4年度は、感染症対策について、引き続き運行前後の手指消毒やマスクの着用、車内の消毒、利用者乗車前の検温を行うなど安心安全に努めます。また、関係機関等に協力をいただきながら利用者拡大に努めます。

主に通院やリハビリ等で利用されていますが、新型コロナウイルス感染症の影響からか、利用者件数は横ばい傾向です。なお、感染対策として運行前後の手指消毒、利用者の乗車前の検温やマスク着用、車内の消毒に努め運行をしました。

利用登録者数：74人(71人)

利用状況 ( ) 前年度

区分	ふれあい号(1号車)	ふれあい号(2号車)
利用件数	399件(393件)	383件(393件)
運行日数	188日(186日)	186日(186件)
走行距離	6,225km(6,046km)	6,079km(6,013km)

**(8) 福祉機器リサイクル及び貸出し事業**

不要になった福祉機器の寄付を受付、整備したものを、高齢者及び障害児・者等に対し、日常生活及び社会生活の便宜を図ることを目的に貸出しを行っています。

安定的に相談に応じられるよう、福祉機器の確保を行っています。

貸出の対象福祉機器：ベッド・マットレス・車いす（電動車いすを除く）エアーマット

高齢者及び障がい児・者等に対し、日常生活及び社会生活に配慮するため、福祉機器（車いす等）の貸出しを行いました。

利用状況 ( ) 前年度

区分	貸出	返却
車いす	23 (13)	14 (10)
ベッド	4 (3)	2 (2)
エアーマット	4 (2)	2 (0)
マットレス	2 (3)	1 (2)

**(9) 福祉車両「あゆみ号」の貸出事業**

車いすを使用している者又は外出に介助を必要とする方や、身体障害者団体等へ本会が所有する福祉車両（あゆみ号 ※令和2年12月にイオンリテール㈱から寄贈）の貸出しを行っています。

令和4年度は、感染症対策について、貸出をする利用者へ、引き続き運行前後の手指消毒やマスクの着用、車内の消毒を行うなど、安心安全に貸出事業が出来るように努めます。

新型コロナウイルス感染症の影響からか、外出が控えられたり、高齢化による団体の解散など、利用件数は減少しています。

引き続き、感染症対策として、貸出をする利用者等に対して、運行前後の手指消毒やマスクの着用、車内の消毒を行うなど、安心安全に貸出事業が出来るように努めました。

利用状況 ( ) 前年度

区分		件数等
貸出件数	個人	34件 (43件)
	団体	0件 (5件)
走行距離		1,447km (2,725km)

**(10) あげお在宅福祉サービス事業**

利用される方も協力される方も会員として登録し、会員相互扶助による助け合いの活動です。

協力員は生活に不便を感じている高齢者などに家事援助の支援を行います。

令和3年度はコロナ禍で活動を休止していましたが、令和4年度は買い物や外回りの掃除など、接触を控えた活動から再開をしていきます。

新型コロナウイルス感染症拡大防止により休止していましたが、令和4年9月から再開し、掃除や整理整頓等の支援を行いました。

利用状況等 ( ) 前年度

利用会員数：2人(7人)、協力会員：5人(23人)

延べ派遣回数：55回(0回)、延べ時間数：94時間(0時間)

主な支援内容：掃除、整理整頓、話し相手、買い物

### (11)ファミリー・サポート・センター事業

地域において子どもの預かり援助をする者（提供会員）と援助を受けることを希望する者（依頼会員）をもって構成する会員組織として会員による相互援助活動の調整を行います。

令和4年度は、入会説明会及び提供会員講習会を実施します。また、ファミサポだより（会報）を年2回発行します。

入会説明会は個別対応のため通常どおり実施させていただき、提供会員講習会等も人数を制限して実施しました。

前期は、講習会の前期日程を開催し、新型コロナウイルス感染症拡大以降実施できていなかった調理実習も行いました。また、ファミサポだより年2回発行しました。

後期は、講習会の後期日程も滞りなく実施することができ、人数を制限してとなりましたが、11月に3年ぶりにミニ交流会を実施することができました。

① 会員数 ( ) 前年度

依頼会員：782人(779人) 提供会員：257人(255人)

両方会員：29人(27人) 合計：1,068人(1,061人)

サブリーダー：5人(5人)

② 活動状況：延べ1,898件(2,428件) ( ) 前年度

区分	内容	件数
保育所・幼稚園	登園前の預かり	5 (50)
保育所・幼稚園	送り	34 (63)
保育所・幼稚園	迎え	207 (331)
保育所・幼稚園	帰宅後の預かり	140 (265)
学校	迎え	64 (87)
学校	登校前の預かり	0 (0)
学校	送り	0 (0)
学校	迎え	64 (87)
放課後児童クラブ	迎え	174 (139)
放課後児童クラブ	終了後の預かり	152 (100)
保護者等	短時間、臨時的就労による援助	6 (42)
保護者等	冠婚葬祭による外出・他の子どもの学校行事の場合の援助	0 (1)
保護者等	外出時の援助	7 (21)
保護者等	病気、その他急用の援助	0 (0)
保護者等	求職活動中の援助	0 (-)
保育所等施設入所前の援助		19 (11)
保育所・学校等休み時の援助		9 (24)
子どもの習い事等の場合の援助		1,063 (1,291)
その他		16 (3)

## (12) 老人福祉センター「ことぶき荘」

場所：上尾市総合福祉センター内 2階

令和4年度は、感染症対策について、館内の利用時、手指消毒、検温、体調確認、マスクの着用、身体的距離の確保や換気等行う他、状況によっては施設の利用制限を行うなど、利用者の安全安心に努めます。

新型コロナウイルス感染症対策のため、利用制限を設けていましたが、11月21日（月）より感染対策を徹底して、通常通りの開館となりました。

入浴及び囲碁・将棋の再開、健康相談、ことぶき荘大広間での飲食利用の緩和に努めました。なお、各種講演会、講習会等は感染症防止のため中止しました。

「敬老の日」は、利用制限を設けて開館しました。

「ことぶきげんきだより」は月1回発行しました。

### ①運営・利用概要 ( ) 前年度

区分	人数	
延利用者数	10,741	(5,971)
1日平均利用者数	44	(31)
新規登録者	6	(12)
見学者（延べ）	108	(63)
実習生（延べ）	7	(8)

### ②地区別利用状況 ( ) 前年度

区分	利用者数	
上尾	3,967	(2,538)
平方	0	(0)
原市	2,294	(1,292)
大石	440	(374)
上平	2,287	(1,079)
大谷	594	(156)
原市団地	576	(301)
尾山台団地	309	(86)
西上尾第一団地	179	(94)
西上尾第二団地	95	(51)
市外	0	(0)

※60歳未満の利用者数 0件

### ③送迎バス利用状況（運行日数85日）

区分	利用者数
バス利用者数	829人
うち巡回バス	829人
うち団体バス	0人

### ④事業参加者数

健康相談 43回 457人

**(13) 障害福祉サービス事業所「かしの木園」**

利用者の年齢が熟年期から高齢期にさしかかってきたことによる、意欲や体力の低下、肥満傾向等、生活上のさまざまな課題へ対応するため、より個別課題に目を向け、利用者と接していきます。また、利用者の生活の質の向上に資するよう、重度重複障害のある方のリハビリや、余暇活動の取り組み等も充実させていきます。

感染対策については、引き続き検温や消毒・換気を徹底して行っています。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため販売イベント等への参加を自粛したことにより、作業収益が大きく減収となりましたが、令和4年度は職員のみで販売イベントへの参加を再開したことにより収入は増収となりました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、自主的に登園自粛をした利用者もおり、休園した方へ電話連絡などで在宅時の健康状態や生活の様子を確認しました。

マスクの着用が難しい利用者が大半を占める中、手洗いやうがい、換気や除菌を徹底して行いました。また、昼食を2部屋に分けて十分な距離を取って摂取することも継続して行いました。

今後も引き続き、感染拡大防止対策を続け、利用者の健康維持に努め、作業や余暇活動への意欲を引き出せるよう支援を行っていきます。

①利用者数：28人／35人定員（R5.3.31現在）

※内訳

障害者支援区分	人数	延利用者数	利用率(%)
4	7	1,447	75.4
5	8	1,941	89.9
6	13	2,680	85.9
合計	28	6,068	

②利用状況及び授産工賃の支払状況

- ・上期開所日数：240日
- ・授産工賃月平均額：2,167円／1人
- ・作業収入合計：2,108,464円

※内訳

作業種目	作業収益	作業種目	作業収益
軽作業	133,155円	さをり織り	140,804円
缶プレス	1,762,895円	陶芸	29,490円
その他	11,800円	内部売上	3,800円
紙すき	30,320円		

③その他

- ・健康診断（6／24）、歯科検診（7／7）



5 第6次地域福祉活動計画の推進	
第6次地域福祉活動計画の推進 担当部署：地域福祉課	
事業項目及び計画、概要	実施状況及び次年度への課題等
<p><b>(1) 地域福祉活動計画推進委員会の開催</b></p> <p>委員会は、各種団体(自治会長、民生委員・児童委員、支部社協、福祉団体等)や本会理事、評議員による9名で構成されています。</p> <p>役割は、地域福祉活動計画の評価及び見直し等の計画の進行管理です。</p> <p>第3次上尾市地域福祉計画と一体で策定しており、進捗管理については、基本的に上尾市地域福祉推進協議会との合同会議を開催し、審議します。</p>	<p>上尾市地域福祉計画における委員会「上尾市地域福祉推進協議会」との合同会議を年2回開催し、計画推進におけるスケジュール及び、市及び社協の計画推進の進捗状況を審議しました。</p> <p>令和4年7月1日開催(市委員会との合同会議)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 年度内スケジュールについて</li> <li>2) 計画の進捗管理について</li> </ol> <p>令和5年3月22日開催(市委員会との合同会議)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 令和4年度活動内容報告</li> <li>2) 令和5年度スケジュール(案)</li> <li>3) 計画の進捗管理について</li> </ol>
<p><b>(2) 第6次上尾市地域福祉活動計画</b></p> <p>本年度は、「第3次上尾市地域福祉計画・第6次上尾市地域福祉活動計画」に基づき、見守りや支え合いは、顔の見える自治会等の小地域エリアで展開されることがより効果的と考えるところに、福祉課題を考える土壌を作るためにも自治会単位での実施に展開を図ります。また、支部は懇談会の意見のとりまとめや課題共有の場としていきます。</p>	<p>計画策定初年度である令和4年度を「計画の方向性を確認する一年」と位置づけ、支部長会議をはじめ、各社協支部の会議や学習会、地域福祉懇談会など、支部の実情に合わせて、効果的な機会を設けていただき、進捗の要となる社協支部関係者と計画の方向性を確認してきました。</p> <p>また、市社協職員間においても、当然のことながら共通認識となることが必要なため、職員全体研修の機会を設け、常勤職員だけでなく臨時職員も含めた研修会を実施。社協全体で計画が目指す方向について確認しました。</p>

6 広報・啓発活動の推進	
広報・啓発活動 担当部署：地域福祉課	
事業項目及び計画、概要	実施状況及び次年度への課題等
<p><b>(1) 『社協だより』の発行</b></p> <p>本会の活動や社会福祉、会員や各種募金募集、ボランティア活動等に関する様々な情報を届け、広く福祉への関心や活動への意欲を高めることを目的として発行します。</p> <p>令和4年度事業計画</p> <p>発行回数：3回(6月、10月、2月) 発行部数：10万部／1回あたり 配布方法：ポスティングによる全戸配布</p>	<p>夏休みボランティア体験2022や成年後見制度等、発行月に合わせ特集を組み、市民が福祉への関心や活動への意欲を高められるような情報を掲載し発行しました。</p> <p>発行回数：3回(6月、10月、2月) 発行部数：10万部／1回あたり 配布方法：ポスティングによる全戸配布</p> <p>169号(6月)「夏休みボランティア体験2022」ほか 170号(10月)「成年後見制度って何？」ほか 171号(2月)「地域の取り組みwithコロナ」ほか</p>
<p><b>(2) ホームページの運用</b></p> <p><b>※予算書におけるサービス区分：法人運営事業、生活支援体制整備事業、共同募金本部会計</b></p> <p>ホームページをリニューアルし、より分かり易く見やすい情報をタイムリーに発信することで、積極的な情報の公開及び住民への福祉サービスの更なる向上を図ります。</p>	<p>ホームページをリニューアルし、検索がしやすいフォーマットにすることで、住民に対して情報が行き届きやすくなるよう努めました。</p> <p>また、トップページを見やすくし、新着情報を迅速に発信するよう努めました。</p> <p><b>更新の内容</b></p> <p>「あげお社協だより」の掲載 「小中学生作文コンクール」募集、作品集 「フードドライブ」の開催 「夏休みボランティア体験」募集 「第32回地域福祉を考える集い」開催 等</p>
<p><b>(3) SNSの活用</b></p> <p>人と人との社会的な繋がりを維持・促進する様々な機能を提供する、ソーシャルメディアを活用していきます。主に、短いつぶやきを投稿・共有する「Twitter」(ツイッター)により、スピーディかつタイムリーな情報の発信・提供を進めていきます。</p>	<p>社協の事業や支部社協の活動など、写真や動画を掲載しながら、積極的にタイムリーな情報を発信しました。</p> <p><b>掲載記事</b></p> <p>「地域・支部活動の紹介」 「フードドライブ活動の紹介」 「寄付・寄贈品の紹介」 「ホームヘルパー活動の紹介」 等</p>

## 7 自主財源の確保

財源の確保

担当部署：総務課、地域福祉課、在宅福祉課

事業項目及び計画、概要

実施状況及び次年度への課題等

### (1) 会員会費の加入促進 (7月強化月間)

1口500円(年額)とし、各地区自治会連合会及び連絡会に協力をいただきながら、市民の方々へ会員募集をさせていただきます。

世帯・個人会費は、第6次地域福祉活動計画に基づき、社協13支部における地域福祉の推進事業費に活用しています。

令和4年度会費予算

○世帯・個人、個人賛助会費

8,950,000円(R3:8,800,000円)

○特別団体会費

1,500,000円(R3:1,600,000円)

○施設会費

441,000円(R3:441,000円)

新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮しながら、従来どおり7月を強化月間として実施した。令和3年度に引き続き、感染症予防対策として、ヒビスコールの配布や資材内容の変更を行いました。

個人賛助会員・特別団体会員・施設会員についても、例年通り7月を強化月間として関係機関や上尾市市内の法人・施設に依頼を実施しました。

社協の活動及び会費の使途のPRを目的とした班長会への参加は、依頼があった2自治会に出席させていただきました。

「会員の加入状況」 ( ) 前年度

区分	件数	金額
世帯・個人会員 ※	13,564件 (13,998件)	7,999,691円 (8,238,718円)
個人賛助会員	768件 (885件)	607,000円 (669,900円)
特別団体会員 (法人・事業所・団体等)	224件 (243件)	1,385,000円 (1,440,000円)
施設会員 (児童・老人・障がい者の施設)	47件 (47件)	423,000円 (423,000円)
合計	14,603件 (15,173件)	10,414,691円 (10,771,618円)

※世帯・個人会員の地区別内訳

( ) 自治会加入世帯数に対する加入率

地区名	令和4年度	令和3年度	令和2年度
上尾東	1,442件(17.7%) 820,775円	1,421件 815,840円	1,375件 798,870円
上尾西	1,104件(16.9%) 693,100円	1,059件 658,451円	1,011件 634,850円
上尾南	1,020件(16.4%) 551,550円	1,053件 578,005円	987件 548,890円
平方	962件(36.2%) 546,500円	950件 545,650円	960件 556,600円
原市	1,606件(15.4%) 953,901円	1,706件 1,006,861円	1,695件 1,019,595円
大石東	1,797件(18.2%) 1,003,200円	1,799件 993,500円	1,917件 1,077,010円
大石西	1,223件(32.8%) 679,820円	1,236件 686,700円	1,218件 699,000円
上平	1,729件(17.3%) 1,053,000円	1,975件 1,196,560円	1,888件 1,157,360円
大谷	1,725件(19.8%) 952,500円	1,783件 1,003,200円	1,817件 1,004,090円

	<p><b>※世帯・個人会員の地区別内訳</b> ( ) 自治会加入世帯数に対する加入率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地区名</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原市団地</td> <td>165件(24.3%) 131,500円</td> <td>164件 137,000円</td> <td>191件 161,500円</td> </tr> <tr> <td>尾山台団地</td> <td>268件(26.1%) 172,600円</td> <td>348件 219,500円</td> <td>355件 239,015円</td> </tr> <tr> <td>西上尾第一団地</td> <td>257件(14.3%) 184,735円</td> <td>268件 199,950円</td> <td>261件 198,500円</td> </tr> <tr> <td>西上尾第二団地</td> <td>266件(14.7%) 256,510円</td> <td>236件 197,501円</td> <td>276件 223,400円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>13,564件(18.9%) 7,999,691円</td> <td>13,998件 8,238,718円</td> <td>13,951件 8,318,680円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※自治会等を通じて加入された会費額(千円未満切捨)の20%を支部活動費として13支部へ還元。</p>	地区名	令和4年度	令和3年度	令和2年度	原市団地	165件(24.3%) 131,500円	164件 137,000円	191件 161,500円	尾山台団地	268件(26.1%) 172,600円	348件 219,500円	355件 239,015円	西上尾第一団地	257件(14.3%) 184,735円	268件 199,950円	261件 198,500円	西上尾第二団地	266件(14.7%) 256,510円	236件 197,501円	276件 223,400円	合計	13,564件(18.9%) 7,999,691円	13,998件 8,238,718円	13,951件 8,318,680円
地区名	令和4年度	令和3年度	令和2年度																						
原市団地	165件(24.3%) 131,500円	164件 137,000円	191件 161,500円																						
尾山台団地	268件(26.1%) 172,600円	348件 219,500円	355件 239,015円																						
西上尾第一団地	257件(14.3%) 184,735円	268件 199,950円	261件 198,500円																						
西上尾第二団地	266件(14.7%) 256,510円	236件 197,501円	276件 223,400円																						
合計	13,564件(18.9%) 7,999,691円	13,998件 8,238,718円	13,951件 8,318,680円																						
<p><b>(2) 日本赤十字社募金の推進(5月強化月間)</b></p> <p>国内だけでなく国外で発生した自然災害や戦争による被災者救援、保健衛生指導の活動をしています。</p> <p>令和4年度目標金額</p> <p>○一般活動資金：10,518,000円 (R3：10,824,000円)</p> <p>○特別活動資金：930,000円 (R3：1,162,000円)</p> <p>令和4年度事業計画</p> <p>○上尾市内における活動資金(会費や寄付金)の募集</p> <p>○上尾市内における赤十字講習会等の開催</p> <p>○上尾市内の住家における災害救護活動及び物資等の配分</p> <p>○上尾市内における広報・啓発活動の実施と世論の醸成</p> <p>○地区赤十字配備品の管理</p> <p>○各種義援金等の取扱い</p> <p>○日本赤十字社埼玉県有功会上尾市支会との連絡調整</p>	<p>○新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮しながら、従来どおり一般活動資金は5月を強化月間として、特別活動資金は9月に県日赤職員と企業を訪問し協力依頼を実施しました。令和3年度に引き続き、感染症予防対策として、ヒビスコールの配布や資材内容の変更を行いました。</p> <p>「日本赤十字社募金の状況」 ( ) 前年度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般活動資金</td> <td>10,276,470円 (10,403,478円)</td> </tr> <tr> <td>特別活動資金</td> <td>802,818円 (830,000円)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>11,079,288円 (11,233,478円)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※別途、特別活動資金90,300円が日本赤十字社埼玉県支部へ直接振込あり。</p> <p>○赤十字講習会 講習会をご依頼のあった3自治会で開催しました。講習会では健康相談や大人の心肺蘇生・AED、簡単な応急手当法について実施しました。</p> <p>○火災対応 全焼・半焼含む10件、床上浸水2件の対応を行い、救援物資等をお届けしました。</p> <p>○各種義援金の取扱いについて 総合福祉センター内及び市役所機関に募金箱を設置しています。また、個人や団体の皆さまからの義援金等を受付、日本赤十字社埼玉県支部へ送金させていただきました。</p>	種別	実績	一般活動資金	10,276,470円 (10,403,478円)	特別活動資金	802,818円 (830,000円)	合計	11,079,288円 (11,233,478円)																
種別	実績																								
一般活動資金	10,276,470円 (10,403,478円)																								
特別活動資金	802,818円 (830,000円)																								
合計	11,079,288円 (11,233,478円)																								

		<table border="1"> <thead> <tr> <th>義援金・救援金名</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ウクライナ人道危機救援金</td> <td>1,202,523円</td> </tr> <tr> <td>2023年トルコ・シリア地震救援金</td> <td>787,713円</td> </tr> </tbody> </table>		義援金・救援金名	実績	ウクライナ人道危機救援金	1,202,523円	2023年トルコ・シリア地震救援金	787,713円																				
義援金・救援金名	実績																												
ウクライナ人道危機救援金	1,202,523円																												
2023年トルコ・シリア地震救援金	787,713円																												
<p><b>(3) 赤い羽根共同募金運動の推進</b> <b>(10月1日～3月31日)</b></p> <p>赤い羽根共同募金の50%は、上尾市内における共同募金の一般配分事業（要（準要）保護児童生徒の遠足費等補助、関係福祉団体育成、あゆみ号貸出事業、社協だより発行等）に活用しています。</p> <p>令和4年度目標金額</p> <table> <tr> <td>戸別募金</td> <td>13,849,000円</td> </tr> <tr> <td>個人大口募金</td> <td>100,000円</td> </tr> <tr> <td>街頭募金</td> <td>200,000円</td> </tr> <tr> <td>学校募金</td> <td>350,000円</td> </tr> <tr> <td>職域・カード募金</td> <td>1,010,000円</td> </tr> <tr> <td>法人募金</td> <td>900,000円</td> </tr> </table>	戸別募金	13,849,000円	個人大口募金	100,000円	街頭募金	200,000円	学校募金	350,000円	職域・カード募金	1,010,000円	法人募金	900,000円	<p>10月1日から3月31日の期間で赤い羽根共同募金運動を実施しました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症への感染拡大防止に務めながら、10月を強化月間として実施しました。</p> <p>街頭募金については、7つの団体に協力をいただき5日間を実施。また、新たな企業協力により、イオンスタイル上尾店舗内での募金活動を実施しました。実施の際は時間を短縮し、少人数に分散しながら音声データを活用して取り組みました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症が一時的に落ち着きもみせ、人の動きも出始めたが物価高の影響などもあり、募金額は減額となりました。</p> <p>「赤い羽根共同募金の状況」 ( ) 前年度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>戸別募金</td> <td>13,535,275円 (13,850,467円)</td> </tr> <tr> <td>個人大口募金</td> <td>0円 (38,000円)</td> </tr> <tr> <td>街頭募金</td> <td>156,291円 (63,031円)</td> </tr> <tr> <td>学校募金</td> <td>16,867円 (47,542円)</td> </tr> <tr> <td>職域・カード募金</td> <td>781,810円 (832,144円)</td> </tr> <tr> <td>法人募金</td> <td>666,300円 (718,500円)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>15,156,543円 (15,549,684円)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※別途、447,572円が埼玉県共同募金会へ直接振込あり（県直納）</p>	種別	実績	戸別募金	13,535,275円 (13,850,467円)	個人大口募金	0円 (38,000円)	街頭募金	156,291円 (63,031円)	学校募金	16,867円 (47,542円)	職域・カード募金	781,810円 (832,144円)	法人募金	666,300円 (718,500円)	合計	15,156,543円 (15,549,684円)
戸別募金	13,849,000円																												
個人大口募金	100,000円																												
街頭募金	200,000円																												
学校募金	350,000円																												
職域・カード募金	1,010,000円																												
法人募金	900,000円																												
種別	実績																												
戸別募金	13,535,275円 (13,850,467円)																												
個人大口募金	0円 (38,000円)																												
街頭募金	156,291円 (63,031円)																												
学校募金	16,867円 (47,542円)																												
職域・カード募金	781,810円 (832,144円)																												
法人募金	666,300円 (718,500円)																												
合計	15,156,543円 (15,549,684円)																												
<p><b>(4) 歳末たすけあい募金運動の推進</b> <b>(10月1日～12月31日)</b></p> <p>歳末たすけあい募金の100%は、上尾市内の様々な福祉事業（低所得世帯への援護金、支部社協・ボランティア等、歳末福祉事業を実施する団体へ配分）に活用しています。</p>	<p>10月1日から12月31日の期間で、新型コロナウイルス感染症への感染拡大防止に務めながら、歳末たすけあい募金運動を実施しました。</p> <p>戸別募金については、班長回覧を赤い羽根共同募金と分けて作成したところ、増加となりました。</p> <p>また、街頭募金についても、3団体の協力をいただき3日間を実施し、増加に繋がりました。赤い羽根共同募金同様に、実施の際は時間を短縮し、少人数に分散しながら音声データを活用して取り組みました。</p>																												

<p>令和4年度目標金額</p> <p>戸別募金 8,896,000円</p> <p>街頭募金 300,000円</p> <p>法人募金 300,000円</p> <p>繰越金 1,283,775円</p>	<p>「歳末たすけあい募金の状況」 ( ) 前年度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>戸別募金</td> <td>8,930,914円 (8,893,684円)</td> </tr> <tr> <td>街頭募金</td> <td>307,440円 (246,413円)</td> </tr> <tr> <td>法人募金</td> <td>110,000円 (216,798円)</td> </tr> <tr> <td>個人大口募金</td> <td>0円 (20,000円)</td> </tr> <tr> <td>繰越金</td> <td>1,643,041円 (1,314,465円)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>10,991,395円 (10,691,360円)</td> </tr> </tbody> </table>	種別	実績	戸別募金	8,930,914円 (8,893,684円)	街頭募金	307,440円 (246,413円)	法人募金	110,000円 (216,798円)	個人大口募金	0円 (20,000円)	繰越金	1,643,041円 (1,314,465円)	合計	10,991,395円 (10,691,360円)		
種別	実績																
戸別募金	8,930,914円 (8,893,684円)																
街頭募金	307,440円 (246,413円)																
法人募金	110,000円 (216,798円)																
個人大口募金	0円 (20,000円)																
繰越金	1,643,041円 (1,314,465円)																
合計	10,991,395円 (10,691,360円)																
<p><b>(5) 地域福祉基金の受入及び運用</b></p> <p>上尾市における地域福祉活動の活性化を図ることを目的として、寄付を受入れます。</p> <p>令和4年度は、地域福祉事業に払出します。</p>	<p>今年度は、法人運営事業費の繰り出しにより、地域福祉基金の払い出しを0にしました。</p>																
<p><b>(6) ボランティア基金の受入及び運用</b></p> <p>継続的なボランティア活動及び災害ボランティア活動等を行うために組織された任意団体に対し、必要な資金の助成を行うことを目的として、ボランティア基金への寄付の受入れ及び運用を行います。</p> <p>令和4年度は、ボランティアセンター事業や、福祉団体の事業に対し、ボランティア基金の有効な活用を努めていきます。</p>	<p>団体等から寄付を受け付け、ボランティアセンター登録団体25団体へボランティア基金の助成を行いました。</p> <p>「ボランティア基金の状況」 ( ) 前年度</p> <p>① 収入</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利息</td> <td>3件 800円 (3件 5,603円)</td> </tr> <tr> <td>寄附金</td> <td>4件 29,191円 (1件 768円)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>7件 29,991円 (4件 6,371円)</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 支出 (活動助成等)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録団体助成 (ボランティアセンター登録団体への運営費補助)</td> <td>25団体 718,500円 (23団体 620,050円)</td> </tr> <tr> <td>災害支援活動助成</td> <td>1件 8,515円 (0件 0円)</td> </tr> <tr> <td>ボランティア事業区分への繰出金</td> <td>0円 (561,511円)</td> </tr> </tbody> </table> <p>今年度はボランティア活動をしている25団体(718,500円)と、災害ボランティア活動をしている1団体(8,515円)に助成を行い、有効に活用してもらえるように努めた。万一活動が難しくなった場合は、返還の手続きをしていきます。</p>	区分	実績	利息	3件 800円 (3件 5,603円)	寄附金	4件 29,191円 (1件 768円)	合計	7件 29,991円 (4件 6,371円)	区分	実績	登録団体助成 (ボランティアセンター登録団体への運営費補助)	25団体 718,500円 (23団体 620,050円)	災害支援活動助成	1件 8,515円 (0件 0円)	ボランティア事業区分への繰出金	0円 (561,511円)
区分	実績																
利息	3件 800円 (3件 5,603円)																
寄附金	4件 29,191円 (1件 768円)																
合計	7件 29,991円 (4件 6,371円)																
区分	実績																
登録団体助成 (ボランティアセンター登録団体への運営費補助)	25団体 718,500円 (23団体 620,050円)																
災害支援活動助成	1件 8,515円 (0件 0円)																
ボランティア事業区分への繰出金	0円 (561,511円)																

### (7) 売店・自動販売機事業の経営

収益事業として、総合福祉センター内売店の経営及び、上尾市公共施設等自動販売機の経営を行います。

また、事業から生じた収益は、社会福祉事業又は公益事業の経営に充当します。

上尾市公共施設等での自動販売機事業は前年同時期に比べ売り上げはやや増加しました。売店事業は館内飲食による新型コロナ感染拡大の懸念から再開はしませんでした。

「売店の状況」 ( ) 前年度

①商品仕入れ： 0円 (20,458円)

②売上： 2,622円 (24,030円)

③差引利益： 2,622円 (3,572円)

「自動販売機の状況」 ( ) 前年度

①上尾市内設置台数： 85台 (85台)

②収入

区分	実績
手数料収入	18,258,111円 (16,942,652円)
負担金収入	3,105,812円 (3,054,310円)
合計	21,363,923円 (19,996,962円)

③支出 (主なもの)

区分	実績
賃貸料	8,195,495円 (7,821,769円)
水道光熱費	3,105,812円 (3,054,310円)
法人税, 法人事業税等	874,400円 (713,200円)
消費税及び地方消費税	921,366円 (765,589円)
合計	13,097,073円 (12,354,868円)

④本会への繰り出し金： 7,983,000円 (7,675,000円)

### (8) 各種委員会の開催

#### ①募金等検討委員会

日赤募金、共同募金、会員会費の諸課題の方向付けや 共同募金(一般募金)及び会員会費の用途のうち関係福祉団体等への補助について審議します。必要に応じて開催します。

第1回

日時：令和4年8月4日

場所：総合福祉センター社会適応訓練室

関係福祉団体補助金について、交付要綱を見直し事業費補助と事業内容について審議しました。

第2回

日時：令和5年2月27日

場所：総合福祉センター社会適応訓練室

内容：令和4年度関係福祉団体補助金について、変更申請、配分結果、令和5年度関係福祉団体補助金申請について審議しました。

<p><b>②歳末たすけあい配分委員会</b>  歳末助け合い募金配分計画、その他、歳末助け合い運動の推進に関することの審議を行います。  必要に応じて開催します。</p>	<p>第1回  日時：令和4年7月26日  場所：上尾公民館講座室401  内容：令和3年度歳末たすけあい配分結果について報告及び令和4年度歳末たすけあい募金配分事業実施要領に基づき配分計画について審議しました。</p> <p>第2回  日時：令和4年11月28日  場所：総合福祉センター社会適応訓練室  内容：令和4年度歳末たすけあい配分決定について審議しました。</p> <p>第3回  日時：令和5年3月6日  場所：総合福祉センター社会適応訓練室  内容：令和4年度の配分結果の報告及び、令和5年度の配分事業の方向性について審議しました。</p>
<p><b>③ボランティアセンター運営委員会</b>  ボランティアセンター事業の調査審議の他、ボランティア基金及び善意銀行助成金の審査を行います。  必要に応じて開催します。</p>	<p>第1回  日時：令和4年7月15日  場所：総合福祉センター社会適応訓練室  内容：令和3年度ボランティアセンター事業報告  令和4年度ボランティアセンター事業計画  善意銀行預指定外寄付金・ボランティア基金助成金の交付申請審査について審議しました。</p> <p>第2回  日時：令和4年12月9日  場所：総合福祉センター社会適応訓練室  内容：小中学生作文コンクールの審査を行いました。</p>



8 事業展開に向けた組織基盤の強化	
会務の運営、職員の資質向上、情報公開等 担当部署：総務課	
事業項目及び計画、概要	実施状況及び次年度への課題等
<b>1. 会務の運営</b> <b>(1) 監査会の開催</b> 社会福祉法や社会福祉法人会計基準、社会福祉法人指導監査実施要綱等に則り、業務監査と財務監査について行います。	日時：令和4年5月6日(金) 場所：上尾市総合福祉センター  令和3年度の事業報告内容について及び計算書類、財産目録についての監事による監査を行いました。
<b>(2) 理事会・評議員会の開催</b> 理事会は、法人の業務執行の決定を行う重要な機関です。令和4年度は、令和4年5月及び令和5年3月を予定。その他、必要に応じて開催します。 評議員会は、役員を選任・解任や定款変更等法人の基本的事項について決議し、中立・公正な立場から理事等をけん制・監督する役割を担う機関です。令和4年度は、令和4年6月及び令和5年3月予定。その他、必要に応じて開催します。	〈理事会〉 第185回 令和4年5月27日 ・評議員候補者の選定について ・事業報告及び計算書類の承認について 他 第186回 令和4年7月11日 ・副会長の選任について 他 第187回 令和4年12月23日 ・補正予算について 他 第188回 令和5年3月13日 ・令和5年度事業計画について 他 〈評議員会〉 定時評議員会 令和4年6月23日 ・理事の選任について ・事業報告及び計算書類の承認について 他 第1回臨時評議員会 令和5年1月24日 ・補正予算について 他 第2回臨時評議員会 令和5年3月24日 ・令和5年度事業計画について 他
<b>(3) 評議員選任解任委員会の開催</b> 評議員を選任及び解任するための機関として設置されています。評議員の改選に際し、必要に応じて開催します。	第1回 日時：令和5年6月9日 場所：上尾市総合福祉センター  第2回 日時：令和5年1月13日 場所：上尾市総合福祉センター
<b>(4) 役員等選考委員会の開催</b> 役員等を構成する選出団体、機関の選考や学識経験者の選考を行うため、開催します。	*今年度については、学識経験者の選考がないため、開催はありません。

<p><b>(5) 関係福祉団体の活動助成</b></p> <p>市民活動・ボランティア活動を振興し地域福祉の増進を図るための事業費として、1 団体当たり 5 万円を上限とし、毎会計年度の予算の範囲内で助成します。</p> <p>*募金等検討委員会で、補助団体及び助成額を審議</p>	<p>○募金等検討委員会にて、補助団体 10 件・補助金 460,000 円を決定しました。</p>
<p><b>(6) 総合福祉センターの維持管理等</b></p> <p>総合福祉センターは、上尾市の福祉の拠点として建設された複合施設で、社会福祉協議会、老人福祉センター「ことぶき荘」、身体障害者福祉センター「ふれあいハウス」、障害福祉サービス事業所「かしの木園」があります。</p>	<p>総合福祉センター福祉団体室ではボランティアグループ、福祉団体、自治会のみなさんに会議や印刷ができる場を提供しています。コロナ禍の現在は、人数制限、換気、消毒等感染対策を行い、予約制でご利用いただいています。</p>
<p><b>2. 組織内連携に向けた取り組み</b></p> <p>上尾社協が事業計画に掲げた内容を意識しながら各職員が行動し、部署同士の連携、垣根を超えた情報共有ができる体制づくりとそのための環境整備に取り組めます。</p> <p><b>(1) プロジェクトチームの発足及び継承</b></p> <p>各課の職員からなるプロジェクトチームの発足及び継承することで、組織内の連携や部署を超えた OJT を行うとともに、進捗状況を管理し、将来的なビジョンに基づいた適切な法人運営を行います。</p> <p>・SNS 導入プロジェクト・会費増強プロジェクト ・危機管理プロジェクト・社協未来プロジェクト</p>	<p>○プロジェクトチーム</p> <p>事業課題の解決や事業推進を図るため、各課が連携して検討を行う場として、プロジェクトチームで取り組みます。</p> <p>現在、SNS プロジェクト開催。</p>
<p><b>(2) 職員の資質向上</b></p> <p>職員が現在担当する職務、又は将来担当することが予想される職務の遂行に必要な知識、技能等の修得を推進し、より高い能力や意欲をもった職員を育成することにより、地域の福祉増進に資することを目的とします。</p> <p>そのためには、職場研修の実施、自己研鑽に向けた取り組みを行います。</p>	<p>○職員研修</p> <p>職員の経験年数によったスキルアップ研修等を行っています。また、職員全体研修として、全職員がより適切で丁寧なお客様対応を目指すためにマナーアップ研修等を取り入れました。</p> <p>この他にも技術更新のための研修等を積極的員的に実施することで、社協職員全体のスキルアップに努めています。</p>

<p><b>3. 情報の公開等</b></p> <p><b>(1) 情報公開の受付</b></p> <p>本会に対する市民の理解と信頼、積極的な参加を図ることを目的とし、文書（電磁的記録含む）の公開を求める者の意思を十分尊重するとともに、個人に関する情報が十分保護されるよう配慮した上で文書を閲覧に供し、又はその写しを交付します。</p>	<p>○情報公開等          情報公開の受付          件数 2件          内容：地域交流サロン事業に関する文書公開          令和4年度世帯・個人会員の会員情報</p>
<p><b>(2) 苦情の解決、第三者委員</b></p> <p>利用者等からの苦情の適切な解決を図り、利用者等の権利を擁護するとともに、本会が実施する事業の質の向上及び運営の信頼性を高めることを目的とし、設置します。</p>	<p>○苦情受付          件数 3件          内容：①職員の受付対応          ②職員の言動          ③利用者の怪我</p>